magicolor® 2490MF
ファクスユーザーズガイド

第１章　はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
第２章　ファクスの接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
第３章　操作パネルとメニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
第４章　ファクスを送信する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57
第５章　ファクスを受信する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・93
第６章　相手先を登録する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・101
第７章　通信管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・123
第８章　トラブルシューティング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・133
付録　・・・139

4556-9598-02K

1800799-014C

はじめに

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。magicolor 2490MF は、Windows の環境でお使いいただくのに最適な複合機です。

ユーザー登録について

アフターサービスをスムーズにお受けいただくために、お客様のユーザー登録をお願いいたします。

ユーザー登録はインターネットのオンライン登録にて受け付けております。http://printer.konicaminolta.jp より“サポート”を選び、“オンラインユーザー登録”にお進みください。

製品に同梱のユーザー登録申込みはがきに必要事項を記入して投函いただくことでもユーザー登録ができます。

（製品によってはユーザー登録後に保証書を発行させていただく機種がございます。）

登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の商標および登録商標です。magicolor および PageScope は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標および登録商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本機に添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響ついて、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

もくじ

1　はじめに 9
こんな機能があります 10
ワンタッチダイアルを使って送信する 10
短縮ダイアルを使って送信する 10
登録した相手先を検索して送信する 10
複数の相手先に送信する 11
時刻を指定して送信する 11
受信文書を印刷しないでメモリに保存する 11
各部の名称 12
前面 12
背面 12

2　ファクスの接続 13
各種接続方法 14
公衆回線への接続 14
公衆回線に接続し、回線をファクス専用としてご使用になる場合 14
公衆回線に接続し、電話とファクスの両方をご使用になる場合 15
ISDN 回線への接続 16
ISDN 回線（電話番号が 1 つ）に接続する場合 16
ISDN 回線（電話番号が 2 つ）に接続する場合 17

ADSL 回線に接続する場合 18
デジタルテレビや CS チューナーに接続する場合 19
ひかり電話に接続する場合 20
構内交換機（PBX)、ビジネスフォン、ホームテレフォンに
接続する場合 21
内線電話として接続する場合 22
備考 23

3 操作パネルとメニュー 25
操作パネルについて 26
ファクスモード画面 30
ファクスモード画面について 30
機能画面について 31
ファクスモードへ切り替えるには 32
画面シンボル一覧 32
操作パネルの設定メニュー一覧 33
設定メニュー 38
ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ 39
ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ 40
ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ 42
ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ 42
ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ 45
ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ 47
ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ 47
設定メニューを設定する 49
一般的な設定メニューの設定のしかた 49
メモリ受信モード（ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ） 50
メモリ受信モードを設定する 51
メモリ受信モードを解除する 54

4 ファクスを送信する 57
基本的な送信のしかた 58
ADF でファクスを送信する 58
原稿ガラスでファクスを送信する 60
解像度を調整する 65
相手先を指定する 66
ファクス番号を直接入力して送信する 66
ワンタッチダイアルキーを使って送信する 68
短縮ダイアル番号を使って送信する 70
リスト機能で検索して送信する 72
検索機能で検索して送信する 75
リダイアル機能を使用して送信する 78
複数の相手先を指定する 80
複数の相手先に送信する（同報送信） 80
指定した時間にファクスを送信する（時刻指定送信） 84

ファクスを手動送信する 87
電話を使用後ファクスを手動送信する 87
オンフックキーを使用してファクスを手動送信する 88
メモリに蓄積された送信文書を削除する 90
ファクスヘッダについて 92

5 ファクスを受信する 93
ファクスを自動受信する 94
ファクスを手動受信する 98
受信したファクスを印刷する 99
印刷可能領域について 99
送信者情報を追加して印刷する 99

6 相手先を登録する 101
ファクス登録機能について 102
ワンタッチダイアル 103
ワンタッチダイアルを登録する 103
ワンタッチダイアルを変更、削除する 106
短縮ダイアル 109
短縮ダイアルを登録する 109
短縮ダイアルを変更、削除する 112
グループダイアル 116
グループダイアルを登録する 116
グループダイアルを変更、削除する 119

7 通信管理 123
カウンターについて 124
ファクスプリントのカウンターを確認する 124
スキャン合計のカウンターを確認する 126
送信／受信結果をディスプレイで確認する 128
レポートとリストについて 129
レポートとリストを印刷する 129
ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ 130
ｼﾞｭｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ 130
ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ 131
ﾂｳｼﾝ ﾖﾔｸ ﾘｽﾄ 131
ﾖﾔｸ ｶﾞｿﾞｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ 131
ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ 131
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ 132
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ 132
ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ 132
ﾌﾟﾘﾝﾀ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ 132
ﾃﾞﾓ ﾍﾟｰｼﾞ 132

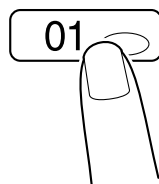
8　トラブルシューティング 133
送信時のトラブル 134
受信時のトラブル 136
エラーメッセージ 137

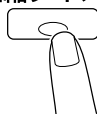
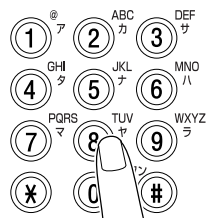
A　付録 139
技術仕様 140
入力のしかた 141
入力できる文字 141
ファクス番号入力時 141
アドレス入力時 142
その他 143
入力モードを変更する 143
入力例 144
文字修正のしかたと入力時の注意 146

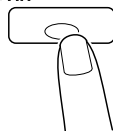
1 はじめに

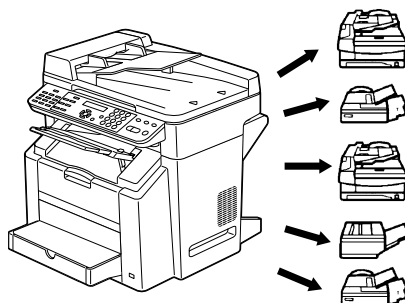
こんな機能があります

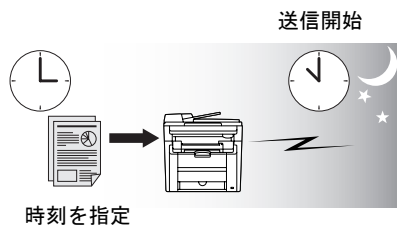
ワンタッチダイアルを使って送信する

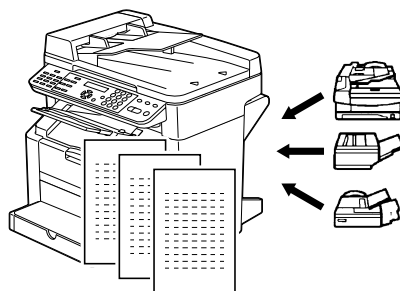
よく送信する相手先のファクス番号を登録し、ボタンを 1 回押すだけで呼び出して送信できます。
（p. 68）

短縮ダイアルを使って送信する

よく送信する相手先のファクス番号を登録し、短縮ダイアルキーとテンキーの組合せで呼び出して送信できます。（p. 70）

登録した相手先を検索して送信する

登録した相手先を、リストや含まれる文字から検索して送信できます。
（p. 72）

複数の相手先に送信する

1 回の送信で、複数の相手先に送信できます。（p. 80）

時刻を指定して送信する

指定した時刻に通信できます。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。（p. 84）

受信文書を印刷しないでメモリに保存する

機密文書を受信したときなどを想定して、受信文書を印刷しないように設定してメモリに保存できます。（p. 50）

各部の名称

以下の図は、本書で使用している本機各部の名称を示しています。

前面

1　自動原稿送り装置（ADF）
　　1a　ガイド板
　　1b　原稿給紙トレイ
　　1c　原稿排紙トレイ

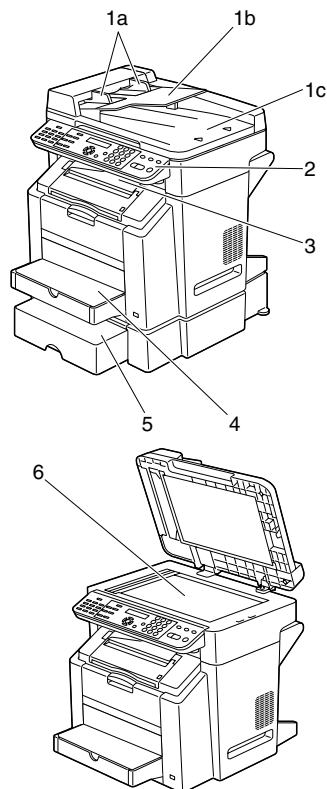
2　操作パネル

3　排紙トレイ

4　トレイ 1

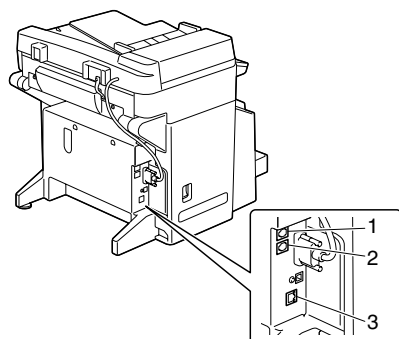
5　トレイ 2

6　原稿ガラス

エラーメッセージなどで、
ADF を「ゲンコウオサエ」
と表示する場合があります。

背面

1　外付け電話機接続用コネクタ（TEL）

2　回線コネクタ（LINE）

3　ネットワーク用ポート（10Base-T/100Base-TX (IEEE 802.3)）

ファクスの接続 2

各種接続方法

ここではファクスの各種接続について説明します。誤った接続は他の機器に悪影響を与える場合がありますので、正しく接続してください。

製品同梱の「magicolor 2490MF インスレーションガイド」の初期設定を行ってから本設定を行ってください。

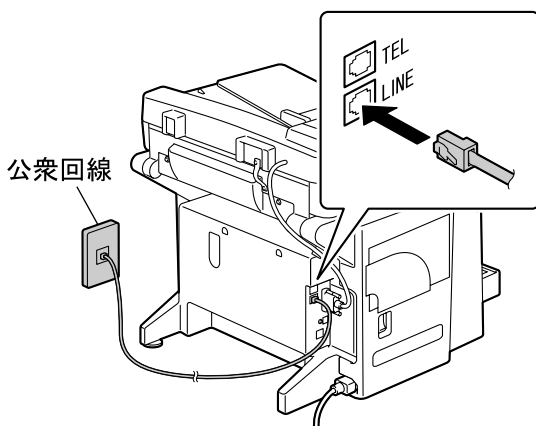
本機に留守番電話機を接続する場合、「TEL/FAX ｷﾘｶｴ」機能をご使用になる場合は「備考」（p.23）をごらんください。

ご注意

ISDN 回線 (ターミナルアダプタ、ダイアルアップルータ接続) や ADSL 回線に接続してご使用の場合 ISDN 接続機器（ターミナルアダプタ等）、ADSL 接続機器（スプリッタ等）が原因でファクス機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、ご加入の回線業者へお問い合わせください。ファクスの設置に伴う回線工事には、「電話工事担任者」資格を必要とします。無資格者の工事は事故のもとになりますので、販売店もしくは、ご利用の電話会社にご相談ください。

公衆回線への接続

公衆回線に接続し、回線をファクス専用としてご使用になる場合

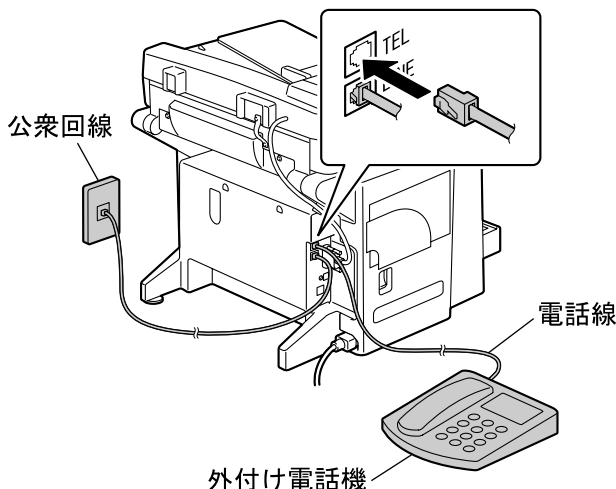
ご使用の電話機コードを本機の左側面の回線コネクタ（LINE）に接続してください。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］：PSTN
– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［TEL/FAX ｷﾘｶｴ］：ｵﾌ

公衆回線に接続し、電話とファクスの両方をご使用になる場合

本機に電話機を接続し、回線上で電話とファクスを兼用する場合の接続方法です。

ご使用の電話機を本機の左側面の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続してください。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］：PSTN

 お使いの電話回線内ですでに何台かの電話機が接続されている場合は、本機または本機に接続されている電話機が使用できない場合があります。この場合、配線工事が必要になりますので、取付工事を行った販売店か、ご利用の電話会社にご相談ください。

本機の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続できる端末（電話機など）台数は１台です。

本機の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続した電話機がファクス内蔵電話機の場合、呼び出し応答時間設定が本機より短く設定されていると、着信時に本機側でファクスの受信ができない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書をご参照の上、本機の呼び出し応答時間よりも長く設定してください。

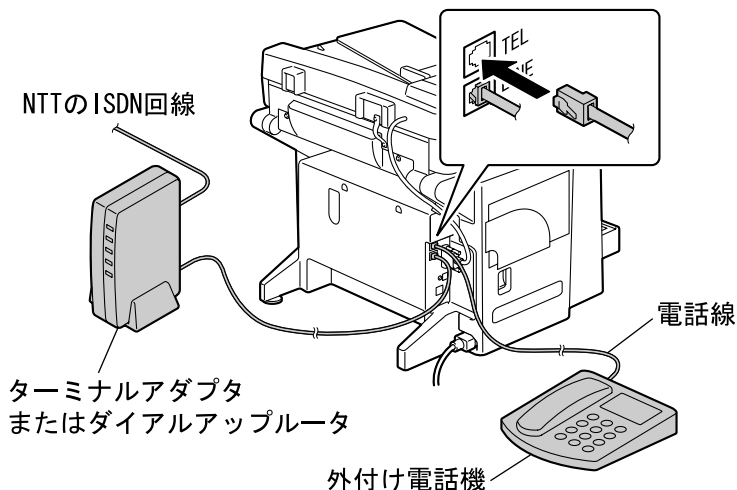
各種サービス（キャッチホン / ナンバー・ディスプレイ / ダイアルインなど）は、ファクスでは使用できません。

電話機子機からの転送受信はできません。

ISDN 回線への接続

ISDN 回線（電話番号が 1 つ）に接続する場合

ISDN 回線で電話番号が 1 つの場合、ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）のアナログポートに本機を接続し、ご使用の電話機を本機の左側面の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続してください。

ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）の空きポートは「使用しない」に設定してください。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］: PSTN

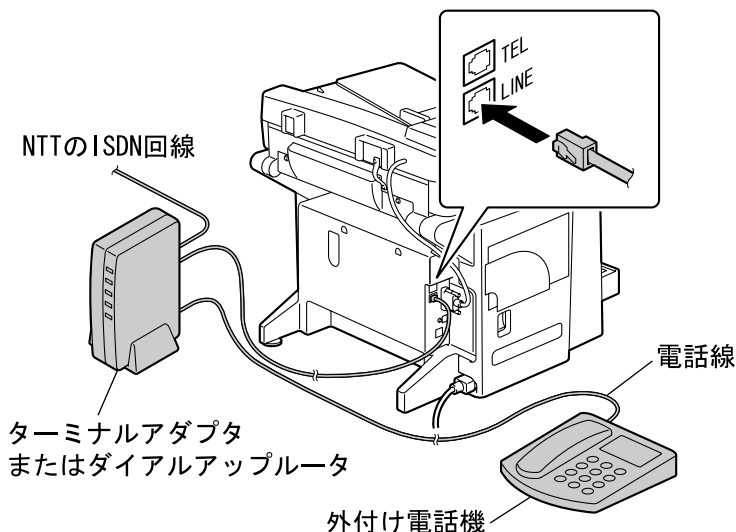
電話とファクスは同時に使用することはできません。

ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）側に本機を接続して電話の発信、着信、通話を確認してください。
万一、本機が使えないときは、ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）の設定を確認してください。設定に関する詳細は、ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）の取扱説明書をごらんいただくか、ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）の販売メーカーにお問い合わせください。

本機の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続した電話機がファクス内蔵電話機の場合、呼び出し応答時間設定が本機より短く設定されていると、着信時に本機側でファクスの受信ができない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書をご参照の上、本機の呼び出し応答時間よりも長く設定してください。

ISDN 回線（電話番号が 2 つ）に接続する場合

電話番号とファクス番号を使い分けることが可能です。

ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）のファクス用電話番号が割り当てられているアナログポートに本機を接続してください。

■ 本機操作パネルの設定：

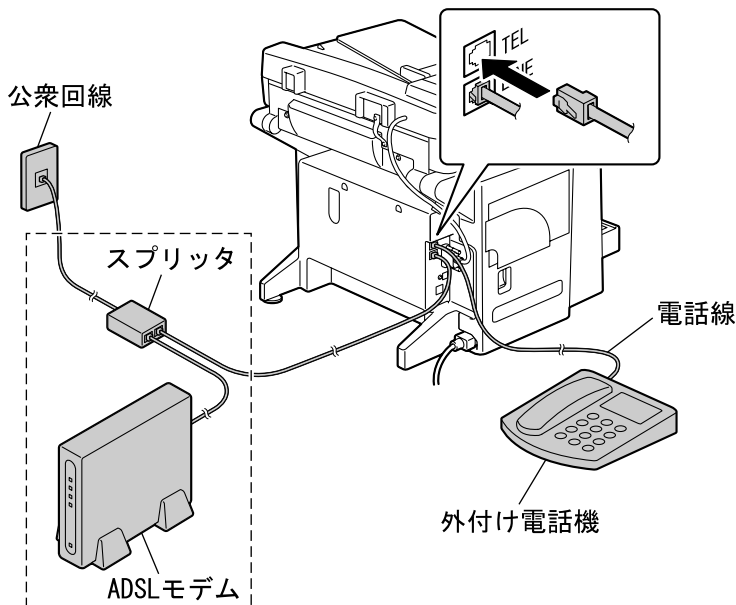
本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］：PSTN
– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［TEL/FAX ｷﾘｶｴ］：ｵﾌ

本機の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続した電話機がファクス内蔵電話機の場合、呼び出し応答時間設定が本機より短く設定されていると、着信時に本機側でファクスの受信ができない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書をご参照の上、本機の呼び出し応答時間よりも長く設定してください。

ADSL 回線に接続する場合

スプリッタの TEL 側端子に本機を接続し、ご使用の電話機を本機の左側面の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続してください

誤った接続の場合、ノイズや通信エラーの原因になります。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］：PSTN
– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［TEL/FAX ｷﾘｶｴ］：ｵﾝ
– ［ｼﾞｭｼﾝｾｯﾃｲ］-［ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］：ｵｰﾄ RX

並列（ブランチ）接続はおやめください。通話音質の低下、ノイズの発生、通信エラーなどの原因になります。

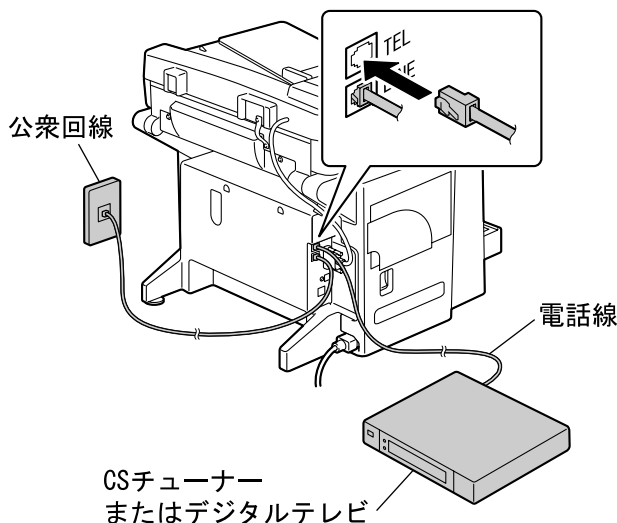
IP フォンを使用してファクス通信を行う場合は、お客様が契約されているプロバイダの通信品質が保証されていることを確認してください。

自分の声または相手の声が聞きづらい（ひびく）場合、スプリッタが影響している可能性がありますのでスプリッタを交換すると改善する場合があります。

接続イメージ図内の点線枠の部分は、使用機器によって一体型の ADSL モデムの場合もあります。

本機の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続した電話機がファクス内蔵電話機の場合、呼び出し応答時間設定が本機より短く設定されていると、着信時に本機側でファクスの受信ができない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書をご参照の上、本機の呼び出し応答時間よりも長く設定してください。

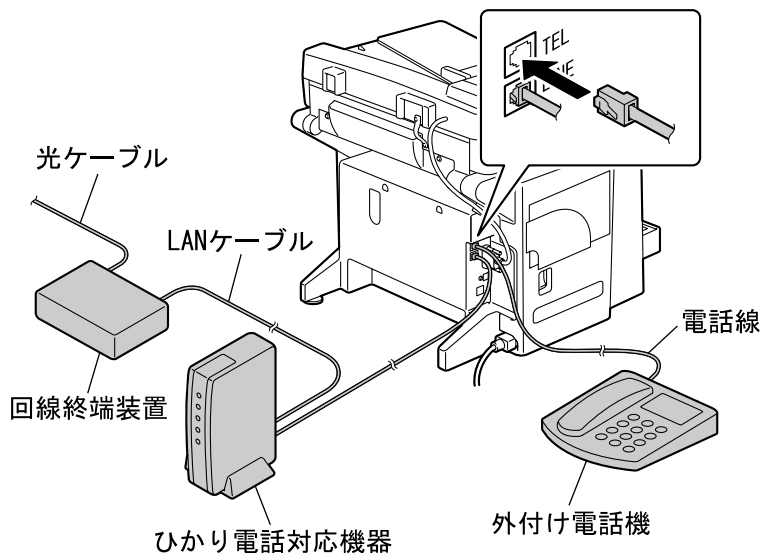
デジタルテレビや CS チューナーに接続する場合

デジタルテレビや CS チューナーは、本機の左側面の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続します。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］：PSTN
– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［TEL/FAX ｷﾘｶｴ］：ｵﾝ
– ［ｼﾞｭｼﾝｾｯﾃｲ］-［ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］：ｵｰﾄ RX

ひかり電話に接続する場合

ひかり電話対応機器（ルータなど）のアナログポートに本機を接続し、ご使用の電話機を本機の左側面の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続してください。

■ 本機操作パネルの設定：

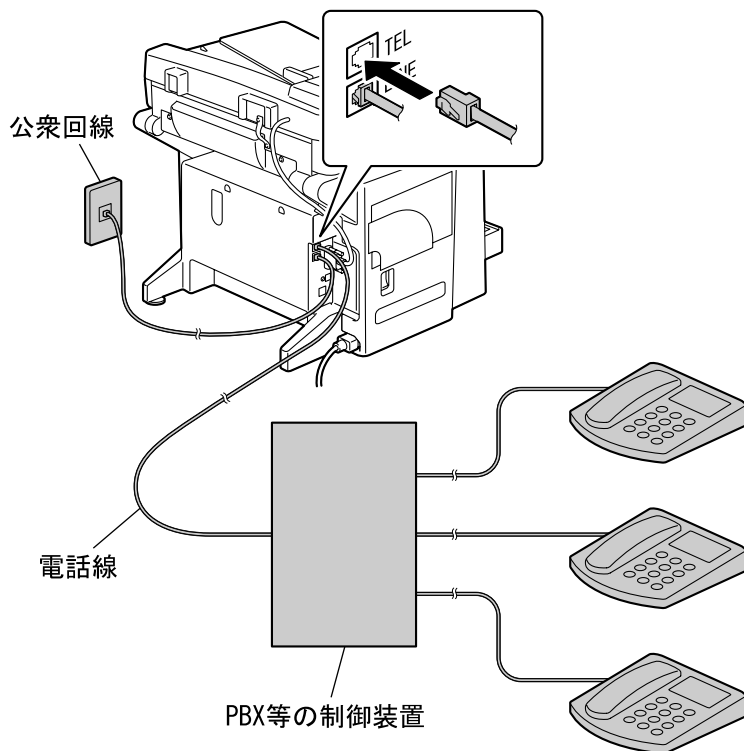
本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］：PSTN

ひかり電話の詳しいサービス内容、およびひかり電話対応機器の設定方法や不具合は NTT にお問い合わせください。
ひかり電話対応機器へ設定するデータは、NTT から郵送される書面をご確認ください。

構内交換機（PBX）、ビジネスフォン、ホームテレフォンに接続する場合

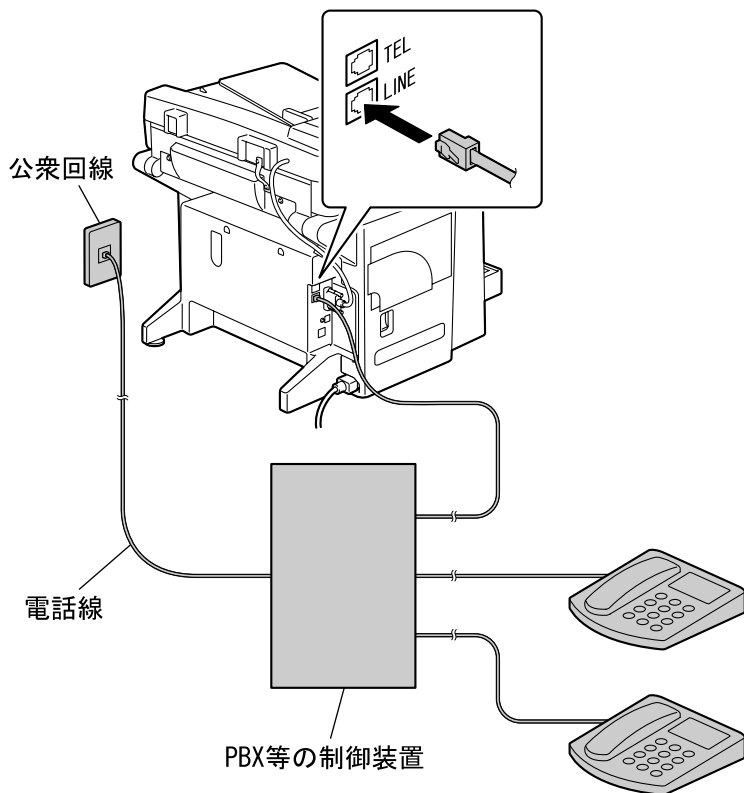
PBX などの制御装置は、本機の左側面の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続します。

回線数が 1 つの場合の例を示します。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］: PSTN
– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［TEL/FAX ｷﾘｶｴ］: ｵﾝ
– ［ｼﾞｭｼﾝｾｯﾃｲ］-［ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］: ｵｰﾄ RX

内線電話として接続する場合

構内交換機（PBX）またはビジネスフォンを使用しているところに本機を内線接続する場合、構内交換機（PBX）またはビジネスフォン主装置の設定をアナログ 2 芯用に変更してください。詳細は、配線工事を実施した販売店にご相談ください。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］: PBX

備考

本機操作パネルのメニューとの組合せにより更に便利にご使用いただけます。

■ 本機に留守番電話を接続する場合

本機に留守番電話を接続する場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

- ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ］: ｵﾝ
- ［ｼﾞｭｼﾝｾｯﾃｲ］-［ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］: ｵｰﾄ RX

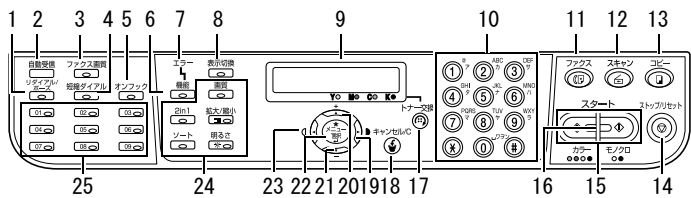
■ TEL/ ファクスを自動切替したい場合

以下の設定によりファクスの場合は自動受信され、TEL の場合は電話着信を示します。

必用に応じて設定してください。

- ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［TEL/FAX ｷﾘｶｴ］: ｵﾝ
- ［ｼﾞｭｼﾝｾｯﾃｲ］-［ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］: ｵｰﾄ RX

3 操作パネルとメニュー

操作パネルについて

No.	名称	機能
1	リダイアル / ポーズキー	■ 最後に送信したファクス番号を呼び出します。詳しくは、「リダイアル機能を使用して送信する」（p.78）をごらんください。 ■ ファクス番号を入力しているときに、ポーズを挿入します。
2	自動受信ランプ	自動受信機能が設定されているときに点灯します。 詳しくは、「ファクスを自動受信する」（p.94）をごらんください。
3	ファクス画質キー	ファクスする原稿の解像度を調整します。 詳しくは、「解像度を調整する」（p.65）をごらんください。
4	短縮ダイアルキー	テンキーとの組合せで、ファクス番号を呼び出します。 詳しくは、「短縮ダイアル番号を使って送信する」（p.70）をごらんください。
5	オンフックキー	手動通信や外付け電話の受話器を上げずに通信するときに押します。 詳しくは、「ファクスを手動送信する」（p.87）または「ファクスを手動受信する」（p.98）をごらんください。
6	機能キー	機能設定モードに切り替わり、機能設定モードの最初のメニューを表示します。 詳しくは、「複数の相手先に送信する（同報送信）」（p.80）、「指定した時間にファクスを送信する（時刻指定送信）」（p.84）、「メモリに蓄積された送信文書を削除する」（p.90）をごらんください。

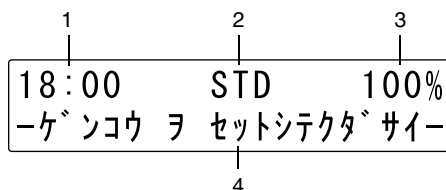
No.	名称	機能
7	エラーランプ	エラーが発生したときに、オレンジ色で点滅します。 詳しくは、「エラーメッセージ」(p.137)をごらんください。
8	表示切替キー	通信結果、カウンター、トナー残量の表示、または、レポートやリストの印刷のときに押します。 詳しくは、「通信管理」(p.123)をごらんください。
9	メッセージウィンドウ	設定やメッセージを表示します。 詳しくは、「ファクスモード画面」(p.30)をごらんください。
10	テンキー	ファクス番号や短縮宛先名などを入力するときに押します。 相手先の指定については、「相手先を指定する」(p.66)を、入力方法については、「入力のしかた」(p.141)をごらんください。
11	ファクスキー	ファクスモードに切り替わり、緑色に点灯します。 詳しくは、「ファクスモード画面」(p.30)をごらんください。
12	スキャンキー	スキャンモードに切り替わり、緑色に点灯します。 詳しくは、「プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイド」をごらんください。
13	コピーキー	コピーモードに切り替わり、緑色に点灯します。 詳しくは、「プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイド」をごらんください。
14	ストップ / リセットキー	■ ファクスの原稿の読み込み、送信、受信、印刷を中止します。 ■ 操作パネルのキーで行った設定を初期値に戻します。 ■ 詳しくは、「基本的な送信のしかた」(p.58)をごらんください。
15	スタートキー	ファクスの送信または受信を開始します。 詳しくは、「基本的な送信のしかた」(p.58)、「ファクスを手動受信する」(p.98)をごらんください。

No.	名称	機能
16	スタートランプ	ファクス送信が可能なときは、緑色に点灯します。 ファクス送信ができないときは、オレンジ色に点灯します。
17	トナー交換キー	トナー交換が必要なときに押します。 詳しくは、「プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイド」をごらんください。
18	キャンセル /C キー	■ 設定メニューの設定をキャンセルし、前の画面に戻ります。 ■ 入力した文字を削除します。 ■ 詳しくは、「設定メニューを設定する」（p.49）、「入力のしかた」（p.141）をごらんください。
19	▶	■ メニューの設定値の表示を右へ移動します。 ■ 文字の入力中は、入力した文字を確定し、カーソルを右に移動します。 ■ 詳しくは、「設定メニューを設定する」（p.49）、「入力のしかた」（p.141）をごらんください。
20	▲	■ 設定メニューの項目を上へ移動します。 ■ メニューの設定値の表示を上へ移動します。 ■ 詳しくは、「設定メニューを設定する」（p.49）をごらんください。
21	▼	■ 設定メニューの項目を下へ移動します。 ■ メニューの設定値の表示を下へ移動します。 ■ 詳しくは、「設定メニューを設定する」（p.49）をごらんください。
22	メニュー選択キー	■ 設定メニューを表示します。 ■ 選択した設定メニューの項目を表示します。 ■ 表示されている設定を確定します。 ■ 詳しくは、「設定メニューを設定する」（p.49）をごらんください。

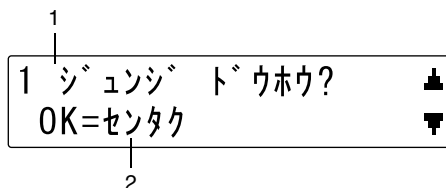
No.	名称	機能
23	◀	■ メニューの設定値の表示を左へ移動します。 ■ 文字の入力中は、入力した文字を確定し、カーソルを左に移動します。 ■ 詳しくは、「設定メニューを設定する」（p.49）、「入力のしかた」（p.141）をごらんください。
24	コピー操作キー	コピー操作をするキーです。 詳しくは、「プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイド」をごらんください。 *ファクスモード表示中にコピー操作キーを押すと、コピーモードに切り替わります。詳しくは、「プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイド」をごらんください。*
25	ワンタッチダイアルキー	■ ワンタッチダイアル番号を登録するときに押します。 ■ ワンタッチダイアル番号を呼び出します。 ■ 詳しくは、「ワンタッチダイアルキーを使って送信する」（p.68）、「ワンタッチダイアル」（p.103）をごらんください。

ファクスモード画面

ファクスモード画面について

ファクスキーを押すと、ファクスモード画面が表示されます。

No.	名称	説明
1	時刻	設定メニューの「ﾆﾁｼﾞ ｾｯﾃｲ」で設定した現在の時刻が表示されます。
2	解像度	選択されている解像度が表示されます。
3	メモリ残量	原稿の読込みが可能なメモリ残量が表示されます。
4	メッセージ	操作方法などのメッセージが表示されます。

機能画面について

機能キーを押すと、機能画面が表示されます。

No.	名称	説明
1	機能名	■ ｼﾞｭﾝｼﾞﾄﾞｳﾎｳ 1 回のファクス送信で複数の相手先に送信できます。詳細は「複数の相手先に送信する（同報送信）」（p.80）を参照してください。 ■ ｼﾞｺｸｼﾃｲｿｳｼﾝ 原稿をメモリに読み込ませ、指定した時間に送信できます。詳細は「指定した時間にファクスを送信する（時刻指定送信）」（p.84）を参照してください。 ■ ﾖﾔｸｷｬﾝｾﾙ タイマー送信待ちなど、メモリに蓄積された文書を削除します。詳細は「メモリに蓄積された送信文書を削除する」（p.90）を参照してください。
2	メッセージ	操作方法などのメッセージが表示されます。

ファクスモードへ切り替えるには

ファクス機能を使うときは、ファクスキーが緑色に点灯していることを確認します。

緑色の点灯していない場合は、ファクスキーを押してファクスモードに切り替えます。

コピーモード中またはスキャンモード中に、短縮ダイアルキー、リダイアル / ポーズキー、ワンタッチダイアルキーを押すと、ファクスモードに切り替わります。

画面シンボル一覧

シンボル		説明
	ダイアル中	本機が相手先を呼び出しているところです。
	着信中	着信があり、呼び出されているところです。
	送信中	原稿が送信されているところです。
	受信中	相手先からの文書を受信しているところです。
	読み込んだ原稿のページ数	読み込んだ原稿のページ数がこのシンボルの横に表示されます。
	トーン	通信設定でパルスが設定されている場合、このシンボルが表示されているときは、トーンを送出します。
	ポーズ	ファクス番号中にポーズが挿入されています。
	タイマー通信予約あり	タイマー通信が予約されています。
	メモリ受信中	メモリ受信が設定されています。

操作パネルの設定メニュー一覧

本機の操作パネルで設定できるメニューの構成は以下のとおりです。

ｱﾂｶﾞﾐ
ｺｳﾀｸｼ
2 ﾄﾚｲ2 ﾖｳｼ
A4
ﾚﾀｰ
ｺﾋﾟｰ ｾｯﾃｲ
1 ﾓｰﾄﾞ
2 ﾉｳﾄﾞ ﾚﾍﾞﾙ（ｵｰﾄ）
3 ﾉｳﾄﾞ ﾚﾍﾞﾙ（ﾏﾆｭｱﾙ）
4 ﾌﾞﾀﾝｲ ｲﾝｻﾂ
5 ｶﾞｼﾂ
6 ﾕｳｾﾝ ﾖｳｼ
ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ
1 ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲｱﾙ
2 ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ
3 ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ
ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
1 ｽｷｬﾝ ﾉｳﾄﾞ
2 ｶｲｿﾞｳﾄﾞ
3 ﾍｯﾀﾞ
ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
1 ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ

2 ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ
3 ｼｭｸｼｮｳ ｼﾞｭｼﾝ
4 ｼﾞｭｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ
5 ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ
6 ﾌｯﾀ
7 ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ
ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
1 ﾃﾞﾝﾜｾﾝ ﾉ ﾀｲﾌﾟ
2 ﾓﾆﾀ ｵﾝﾘｮｳ
3 PSTN/PBX
4 TEL/FAX ｷﾘｶｴ
5 ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ
6 ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ
ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
1 ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ
2 ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ
3 ｼﾞｭｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ
ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ
1 ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ
2 ﾆﾁｼﾞ ｾｯﾃｲ
ｼﾞｶﾝﾉ ｾｯﾃｲ

ﾌﾝ ﾉ ｾｯﾃｲ
ﾈﾝ ﾉ ｾｯﾃｲ
ﾂｷ ﾉ ｾｯﾃｲ
ﾋ ﾉ ｾｯﾃｲ
3 ﾋｽﾞｹ ﾉ ｹｲｼｷ
4 ｺﾃｲ ﾊﾞｲﾘﾂ
5 ﾌｧｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
6 ﾊｯｼﾝ ﾓﾄ
ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ
1 ｶﾞｿﾞｳ ﾋﾝｼﾂ
2 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ
ﾄﾚｲ 1
ﾌﾂｳｼ
ﾗﾍﾞﾙ ﾖｳｼ
ｶﾝｾｲ ﾊｶﾞｷ
ｱﾂｶﾞﾐ
ｺｳﾀｸｼ
ﾄﾚｲ 2
A4
ﾚﾀｰ
3 N-UP ﾚｲｱｳﾄ

ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ
1 IP ｱﾄﾞﾚｽ
2 ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
3 ｹﾞｰﾄｳｪｲ
4 DNS ｾｯﾃｲ
ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ
1 ｿｳｼﾝｼｬ ﾒｲ
2 ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ
3 SMTP ｻｰﾊﾞ
4 SMTP ﾎﾟｰﾄ NO.
5 SMTP ｻｰﾊﾞ ﾀｲﾑｱｳﾄ
6 ﾃｷｽﾄ ｿｳﾆｭｳ
7 ｹﾝﾒｲ
ｽｷｬﾅ ｾｯﾃｲ
1 ｶｲｿﾞｳﾄﾞ
2 ｼｭﾂﾘｮｸ ﾌｧｲﾙ ｹｲｼｷ
3 ﾌｺﾞｳｶ ﾎｳｼｷ

設定メニュー

常用する設定が初期設定となるように、設定メニューで変更できます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

設定メニューの設定については、「設定メニューを設定する」（p.49）をごらんください。

ﾄﾚｲ ｾｯﾃｲ、ｺﾋﾟｰ ｾｯﾃｲ、ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄの設定については、「プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイド」をごらんください。

ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ

1 ｵｰﾄ ﾘｾｯﾄ	設定	**ｵﾝ** / ｵﾌ
	本機を操作しなくなってから一定時間経過したとき、全ての設定を取り消し、初期設定に戻すかどうかを選択します。 ｵﾝを選択した場合、自動リセット機能がはたらくまでの時間を選択します。 時間の設定範囲 0.5、1、2、3、4、5 分 （工場出荷時の設定値は 1 分） ｵﾌを選択した場合、自動リセット機能ははたらきません。	
2 ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ	設定	5/15/**30**/60
	本機を一定時間使用しない場合に、節電モードへ移行するまでの時間を設定します。 単位は分です。	
3 LCD ｺﾝﾄﾗｽﾄ	設定	ｳｽｲ ◁□■□□▶ ｺｲ
	メッセージウィンドウの明るさを設定します。	
4 Language	設定	English / French / German / Italian / Spanish / Portuguese / Russian / Czech / Slovakian / Hungarian / Polish / **Japanese**
	メッセージウィンドウの表示言語を、選択した言語に切り替えることができます。	
5 ﾗﾝﾌﾟ ｵﾌ ｼﾞｶﾝ	設定	**ﾓｰﾄﾞ 1**/ ﾓｰﾄﾞ 2
	何も操作が行われなかった場合に、スキャナユニットのランプをオフにするまでの時間を設定します。 「ﾓｰﾄﾞ 1」に設定した場合は、本機が 4 時間操作が行われないとランプがオフになります。 「ﾓｰﾄﾞ 2」に設定した場合は、本機が節電モードに移行した時にランプがオフになります。	
6 ﾌﾞｻﾞｰ ｵﾝﾘｮｳ	設定	ｵｵｷｲ / **ﾁｲｻｲ** / ｵﾌ
	警告音とキーを押したときの確認音の音量を設定します。	
7 ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ	設定	ｺﾋﾟｰ / ﾌｧｸｽ
	本機の電源を ON した後またはオートリセット後のモードを設定します。	

8 ﾄﾅｰﾅｼ ﾃｲｼ	設定	**ｵﾝ** / ｵﾝ（ﾌｧｸｽ）/ ｵﾌ
	トナーが無くなったときに、印刷を停止するかどうかを設定します。 印刷を停止する場合、停止中に受信したファクスはメモリに保存され、エラー解除後、自動的に印刷されます。 ■ ｵﾝ：トナーエンプティを検出したときに、すべての印刷を停止します。 ■ ｵﾝ（ﾌｧｸｽ）：トナーエンプティを検出したときに、ファクスの印刷のみ停止します。メッセージウィンドウにメッセージが表示されます。 ■ ｵﾌ：トナーエンプティを検出しても、印刷を停止しません。メッセージウィンドウにメッセージが表示されます。	
9 ｼﾞﾄﾞｳ ｹｲｿﾞｸ	設定	ｵﾝ / **ｵﾌ**
	印刷で用紙サイズエラーになった場合、印刷を継続するか、停止するかを選択します。	
10 ｶｲﾁｮｳ ﾎｾｲ	設定	ｵﾝ / **ｵﾌ**
	画像階調を補正します。 ｵﾝに設定すると、画像階調の補正を開始します。	

ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ

1 ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲｱﾙ	よく使うファクス番号またはメールアドレスを、ワンタッチダイアルキーに登録します。ファクス番号の手入力をしないため、簡単に呼び出せ、正確に相手先を指定できます。 ワンタッチダイアルは最大 9 件登録できます。 詳しくは、「ワンタッチダイアル」（p.103）をごらんください。

2 ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ	よく使うファクス番号またはメールアドレスを、短縮ダイアル番号に登録します。ファクス番号の手入力をしないため、簡単に呼び出せ、正確に相手先を指定できます。 短縮ダイアル番号は最大 100 件登録できます。 詳しくは、「短縮ダイアル」（p.109）をごらんください。
3 ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ	よく使う同報相手先を、ワンタッチダイアルキーに登録します。ワンタッチダイアルキーを押すだけで、複数相手先を呼び出せきます。 1 つのグループダイアルに、最大 50 件登録できます。 グループダイアルは最大 9 件登録できます。 詳しくは、「グループダイアル」（p.116）をごらんください。

ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ

<table>
<tr><td rowspan="2">1 ｽｷｬﾝ ﾉｳﾄﾞ</td><td>設定</td><td>ｳｽｲ ◁□■□▷ ｺｲ</td></tr>
<tr><td colspan="2">原稿をスキャンするときの濃度を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2 ｶｲｿﾞｳﾄﾞ</td><td>設定</td><td>STD / FINE / S/F / H/T</td></tr>
<tr><td colspan="2">スキャン解像度（ファクス画質）の初期値を選択します。
■ STD：手書きなどを含む通常の原稿の場合に設定します。（標準）
■ Fine：小さい文字を含む原稿の場合に設定します。（ファイン）
■ S/F：新聞などの小さい文字を含む原稿や精密図の場合に設定します。（スーパーファイン：高精細）
■ H/T：写真などの濃淡のある原稿の場合に設定します。（ハーフトーン）
「H/T」を選択した場合は、「STD」、「FINE」、「S/F」を選択する画面が表示されます。
送信時に、ここで設定した初期値から解像度を変更する場合は、ファクス画質キーを押します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3 ﾍｯﾀﾞ</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">送信先の文書に本機の発信元情報（送信日時、送信者名、送信者ファクス番号、セッション番号、ページ番号）を印字するかどうかを設定します。</td></tr>
</table>

ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ

<table>
<tr><td rowspan="2">1 ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">機密文書の受信のため、メモリ受信する（ｵﾝ）かしない（ｵﾌ）かを設定します。メモリ受信モードが「ｵﾝ」の場合は、受信文書はメモリに蓄積され、指定した時間に出力されます。または、メモリ受信モードを「ｵﾌ」にしたときに、出力されます。
メモリ受信モードを設定するときに、パスワードの設定もできます。パスワードは設定をキャンセルするときにも必要になります。
詳しくは、「メモリ受信モード（ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ）」（p.50）をごらんください。</td></tr>
</table>

2 ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ	設定	0 ～ 15（初期値：2）
	ファクス受信開始までの呼び出し音の回数を 0 ～ 15 の間で入力します。 留守番電話を接続して使用する場合は、設定メニューの「ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ」を「ｵﾝ」に設定し、留守番電話機側の応答するまでの呼び出し回数は本設定より短く設定してください。「ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ」について詳しくは「ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p.45）をごらんください。	
3 ｼｭｸｼｮｳ ｼﾞｭｼﾝ	設定	**ｵﾝ** / ｵﾌ / ｶｯﾄ
	本機の印刷用紙よりも長い文書を受信したときに、縮小するか、分割するか、破棄するかを選択します。 ■ ｵﾝ：縮小して印刷します。 ■ ｵﾌ：等倍で、分割して印刷します。 ■ ｶｯﾄ：用紙に収まらない部分を破棄して印刷します。ただし、受信文書が印刷用紙よりも 24 mm 以上長い場合は、分割されます。	
4 ｼﾞｭｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ	設定	**ﾒﾓﾘ RX**/ ﾌﾟﾘﾝﾄ RX
	受信文書の印刷を、全ページ受信後に印刷を開始するか、1 ページ目を受信後から印刷を開始するかどうかを選択します。 ■ ﾒﾓﾘ RX: 全ページを受信後、印刷を開始します。 ■ ﾌﾟﾘﾝﾄ RX: 1 ページ目を受信後、印刷を開始します。	
5 ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ	設定	**ｵｰﾄ RX**/ ﾏﾆｭｱﾙ RX
	受信モードを自動受信にするか、手動受信にするかを選択します。 ■ ｵｰﾄ RX：ファクスの着信後自動的に受信する場合に設定します。 ■ ﾏﾆｭｱﾙ RX：ファクスの着信後自動的に受信しません。外付け電話機の受話器を上げるかオンフックキーを押してから、スタートキーを押すと、受信が開始されます。 手動受信については、「ファクスを手動受信する」（p.98）をごらんください。	

<table>
<tr><td rowspan="2">6 ﾌｯﾀ</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信した文書に受信情報（受信日時、相手先ファクス番号など）を文書の下部に印字するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7 ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ</td><td>設定</td><td>ﾄﾚｲ 1 : ｷﾝｼ / ｷｮｶ
ﾄﾚｲ 2 : ｷﾝｼ / ｷｮｶ</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信文書やレポートを印刷するときに、どちらの給紙トレイを使うか選択します。

トレイ 2 がインストールされていない場合は、「ﾄﾚｲ 2」は表示されません。</td></tr>
</table>

ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ

1 ﾃﾞﾝﾜｾﾝ ﾉ ﾀｲﾌﾟ	設定	ﾄｰﾝ / ﾊﾟﾙｽ
	回線の種類を選択します。回線の種類が正しく選択されていないと、ファクス通信はできません。 ご使用の回線の種類を確認してから、設定してください。 ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲの「ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ」が「USA」の場合、設定は変更できません。	
2 ﾓﾆﾀ ｵﾝﾘｮｳ	設定	ｵｵｷｲ / **ﾁｲｻｲ** / ｵﾌ
	回線モニタ音の音量を選択します。 設定が「ｵﾌ」の場合でも、オンフックキーを押したときにはモニタ音が聞こえます。	
3 PSTN/PBX	設定	**PSTN** / PBX
	PSTN または PBX は、ご利用の環境に合わせて選択します。 ■ PSTN : ご利用の環境に電話交換機などがない場合に選択します。 ■ PBX : ご利用の環境に電話交換機などがあり、内線電話システムなどを用いている場合に選択します。	
4 TEL/FAX ｷﾘｶｴ	設定	ｵﾝ / ｵﾌ
	着信後、自動的に電話着信とファクス受信を切り替える機能です。電話機を接続した場合に設定します。 ■ ｵﾝ : ファクスの場合は自動受信され、電話の場合は呼び出し音が鳴ります。 ■ ｵﾌ : ファクスの場合は自動受信され、電話の場合は応答音だけ相手に返します。 *ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲでの「ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」は「ｵｰﾄ RX」に設定します。*	
5 ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ	設定	5 / 10 / 15 / **20** / 25 / 30 / 60 / 90 / 120 / 150 / 180 / 240
	電話の呼び出し時間 (秒) を設定します。「TEL/ FAX ｷﾘｶｴ」が「ｵﾝ」の場合に設定が有効になります。	

<table>
<tr><td rowspan="2">6 ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話機の留守番電話機能を使う場合に設定します。

「ｵﾝ」に設定した場合、留守番電話応答中にファクス信号を検出するとファクス受信に切替えます。

ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲでの「ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」は「ｵｰﾄ RX」に設定します。「TEL/FAX ｷﾘｶｴ」は「ｵﾌ」に設定してください。</td></tr>
</table>

ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ

1 ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ	設定	**ｵﾝ** / ｵﾌ
	通信管理レポートを印刷するかどうかを設定します。「ｵﾝ」に設定すると、通信 60 件ごとに、印刷されます。 通信管理レポートで送受信の結果を確認できます。	
2 ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ	設定	ｵﾝ / **ｵﾝ（ｴﾗｰ）**/ ｵﾌ
	ファクス送信終了後に、自動的に送信結果レポートを印刷するかどうかを設定します。 ■ ｵﾝ : 送信終了毎に印刷します。 ■ ｵﾝ（ｴﾗｰ）: エラーになった送信の場合にのみ印刷します。 ■ ｵﾌ : エラーになったときでも印刷しません。	
3 ｼﾞｭｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ	設定	ｵﾝ / **ｵﾝ（ｴﾗｰ）**/ ｵﾌ
	ファクス受信終了後に、自動的に受信結果レポートを印刷するかどうかを設定します。 ■ ｵﾝ : 受信終了毎に印刷します。 ■ ｵﾝ（ｴﾗｰ） : エラーになった受信の場合にのみ印刷します。 ■ ｵﾌ : エラーになったときでも印刷しません。	

ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ

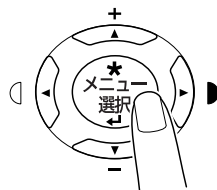
1 ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ	設定	Japan / Korea / Malaysia / Mexico / Netherlands / New Zealand / Norway / Philippines / Poland / Portugal / Russia / Saudi Arabia / Singapore / Slovakia / South Africa / Spain / Sweden / Switzerland / Taiwan / Turkey / USA / UK / Argentina / Australia / Austria / Belgium / Brazil / Canada / China / Czech / Denmark / Europe / Finland / France / Germany / Greece / Hong Kong / Hungary / Ireland / Israel / Italy
	本機を設置した国を設定します。	

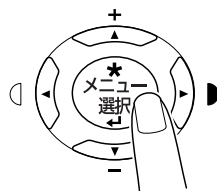
2 ﾆﾁｼﾞ ｾｯﾃｲ	設定	ｼﾞｶﾝﾉ ｾｯﾃｲ： 00 ～ 23 ﾌﾝ ﾉ ｾｯﾃｲ： 00 ～ 59 ﾈﾝ ﾉ ｾｯﾃｲ： 00 ～ 99 （2000 ～ 2099） ﾂｷ ﾉ ｾｯﾃｲ： 01 ～ 12 ﾋ ﾉ ｾｯﾃｲ： 01 ～ 31
	現在の日時をテンキーで入力します。 「ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ」が「USA」または「Canada」に設定されている場合は、サマータイムに合わせて自動的に変更されます。（開始日：4 月の第 1 日曜日午前 2 時、終了日：10 月の最終日曜日午前 2 時）	
3 ﾋﾂﾞｹ ﾉ ｹｲｼｷ	設定	**MM/DD/YY** / DD/MM/YY / YY/MM/DD
	レポートやリストの日時表示の形式を選択します。	
4 ｺﾃｲ ﾊﾞｲﾘﾂ	設定	ｲﾝﾁ / **ﾒﾄﾘｯｸ**
	ズーム倍率のプリセットで使用する単位系を、インチまたはミリメートルのいずれかに設定します。	
5 ﾌｧｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ	本機のファクス番号を入力します。数字、スペース、＋、- で 20 桁まで入力できます。 ここで設定したファクス番号が送信先の文書のヘッダに印刷されます。	
6 ﾊｯｼﾝ ﾓﾄ	発信元名を入力します。32 桁まで入力できます。 ここで設定した発信元名が送信先の文書のヘッダに印刷されます。	

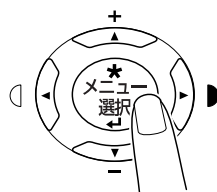
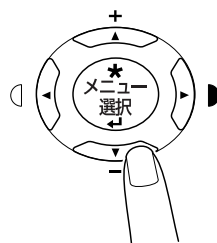
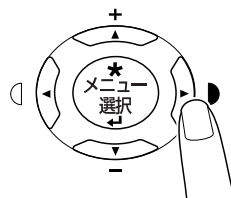
その他の設定メニューについては「プリンタ / コピー/ スキャナ　ユーザーズガイド」をごらんください。

設定メニューを設定する

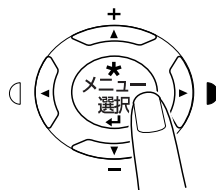
一般的な設定メニューの設定のしかた

1 ファクスモード画面が表示されている状態で、メニュー選択キーを押し、設定メニューを表示させます。

```
ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ?
 OK=ｾﾝﾀｸ / ﾏﾀﾊ1-9
```

2 画面上段のメニュー名を確認し、メニュー選択キーを押し、表示されているメニューの設定画面を表示させます。
または
別のメニューを選択する場合は、▲または▼を押して、目的のメニューを表示させ、メニュー選択キーを押します。

p. 33 メニューツリーを参照して、目的のメニューを探してください。

ツリーに表示されている番号をテンキーで押すことでも、目的のメニューを表示できます。
例：「ﾌﾞｻﾞｰ ｵﾝﾘｮｳ」を表示させるには、「ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ」画面で 6 キーを押します。

3 設定値が画面に表示されている場合、◀ キーまたは ▶ キーで「＊」マークを目的の設定値に移動させます。設定値の段に「 ▶ 」が表示されている場合、さらに設定値があることを示しています。
または
設定値の画面に「▲」「▼」が表示されている場合、▲キーまたは▼キーを押して、目的の設定値を表示させます。
または
設定値を入力する場合、キーパッドで数値を入力します。

4 メニュー選択キーを押します。設定が確定され、ファクスモード画面に戻ります。

設定をキャンセルしたいときは、キャンセル /C キーを押します。

メモリ受信モード（ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ）

機密文書を受信することがある場合、受信文書をメモリに蓄積し、指定した時間に出力することができます。

メモリ受信モードは以下の設定で使用できます。

■ 開始／終了時間設定：なし

メモリ受信モードは常に「ｵﾝ」になります。メモリに保存されたファクスを印刷する場合は、メモリ受信モードを「ｵﾌ」にします。

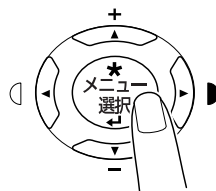
■ 開始／終了時間設定：あり

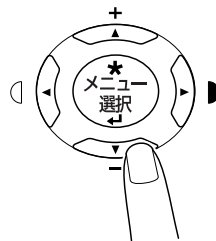
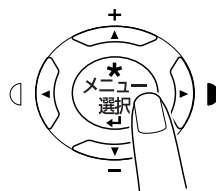
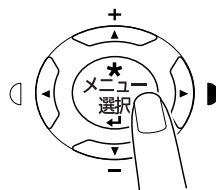
設定した時間にメモリ受信モードを開始／終了します。

例 1：開始時間 =18:00、終了時間 = 8:00 の場合
18:00 ～ 8:00 の間メモリ受信モードになり、8:00 ～ 18:00 は受信後印刷される通常の受信になります。
メモリに保存された文書は 8:00 に印刷されます。

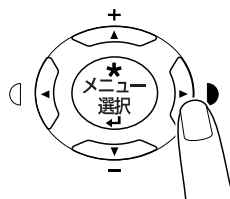
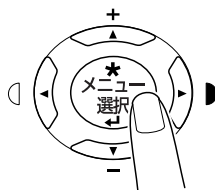
例 2：開始時間 =12:00、終了時間 =12:00（開始時間と終了時間が同じ）場合
メモリ受信モードは常に ON になりますが、メモリに保存されたファクスが 12:00 に印刷されます。

メモリ受信モードを設定する

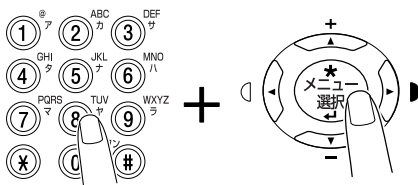
1 ファクスモード画面が表示されている状態で、メニュー選択キーを押し、設定メニューを表示させます。

ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ?
OK=ｾﾝﾀｸ / ﾏﾀﾊ1-9

2 ▲キーまたは▼キーを押して、「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」画面を表示させ、メニュー選択キーを押します。

ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ?
OK=ｾﾝﾀｸ / ﾏﾀﾊ1-7

3 「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」画面が表示されたのを確認して、メニュー選択キーを押します。

4 ◀ キーまたは ▶ キーを押して、「ｵﾝ」を選択し、メニュー選択キーを押します。

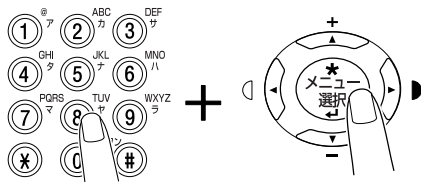
*ｵﾝ　　　　　ｵﾌ
◄,► & ｾﾝﾀｸ

「ON ｼﾞｺｸ」画面が表示されます。

ON ｼﾞｺｸ=_ :
OK=ｾﾝﾀｸ

5 テンキーでメモリ受信モードを開始する時間を入力し、メニュー選択キーを押します。The 「OFF ｼﾞｺｸ」画面が表示されます。

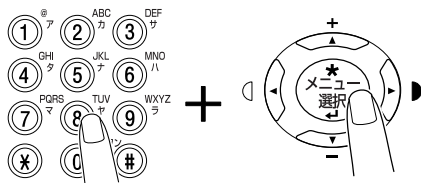
開始時間を設定しない場合は、時間を入力しないでメニュー選択キーを押します。

OFF ｼﾞｺｸ=　 :

6 テンキーでメモリ受信モードを終了する時間を入力し、メニュー選択キーを押します。

「ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ」画面が表示されます。

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=_
OK=ｾﾝﾀｸ

手順５で開始時間を設定していない場合は、終了時間も入力しないでメニュー選択キーを押します。

7 テンキーでパスワードを入力し、メニュー選択キーを押します。
メモリ受信モードが設定されます。

＊ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ｵﾝ＊
<T><PWD>

パスワードは、メモリ受信モードを「ｵﾌ」にしたり、開始／終了時間を変更するときに必要になります。４桁の数字を入力してください。

パスワードを設定しない場合は、パスワードを入力しないでメニュー選択キーを押します。

メモリ受信モードを解除する

1 ファクスモード画面が表示されている状態で、メニュー選択キーを押し、設定メニューを表示させます。

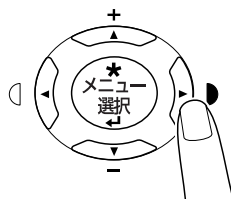
ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ?
OK=ｾﾝﾀｸ / ﾏﾀﾊ1-9

2 ▲キーまたは▼キーを押して、「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」画面を表示させ、メニュー選択キーを押します。

ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ?
OK=ｾﾝﾀｸ / ﾏﾀﾊ1-7

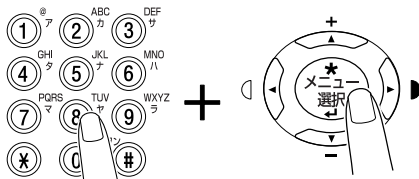
3 「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」画面が表示されたのを確認して、メニュー選択キーを押します。

4 ◀ キーまたは ▶ キーを押して、「ｵﾌ」を選択し、メニュー選択キーを押します。

「ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ」画面が表示されます。

ハ゜スワート゛=_
OK=センタク

パスワードが設定されていない場合は、メモリ受信モードが解除されます。

5 テンキーでパスワードを入力し、メニュー選択キーを押します。
メモリ受信モードが解除されます。

メモリに保存されたファクスがある場合、印刷が開始されます。

ファクスを送信する

基本的な送信のしかた

ここでは基本的なファクス送信のしかたを説明しています。

ADF でファクスを送信する

ADF を使うと、自動的に複数のページの読込みができます。

クリップやステープルなどでとじられた原稿は、絶対にセットしないでください。

原稿は 50 枚または、マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。

原稿のセットが不完全な場合、原稿が斜め送りされ、原稿づまりや原稿破損の原因となります。

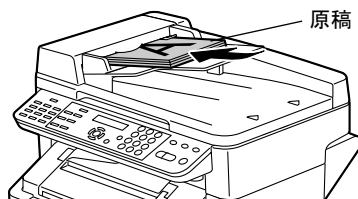
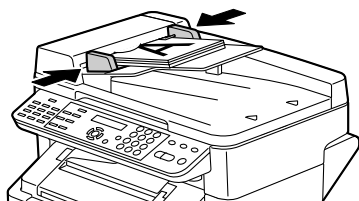
原稿が読み込まれている間は、ADF を開かないでください。

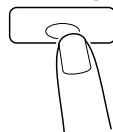
送信可能な用紙サイズは、A4、レター、リーガルのみです。

1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

```
18:00     STD     100%
-ｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ-
```

2 原稿ガラスに原稿が残っていないか確認します。

3 原稿の送信する面を上にして、原稿給紙トレイにセットします。

4 ガイド板を原稿のサイズに合わせます。

5 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

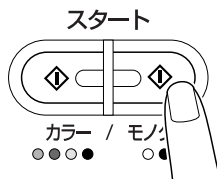
画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」(p.65) をごらんください。

```
*STD  FINE  S/F  H/T
 ◀, ▶  & センタク
```

6 相手先のファクス番号を指定します。指定のしかたには、以下の方法があります。

- 直接入力する
- ワンタッチダイアルキーを使う（グループダイアルも含む）
- 短縮ダイアル番号を使う
- 検索機能（リスト／検索）を使う
- リダイアル / ポーズキーを使う

相手先の指定のしかたについては、「相手先を指定する」(p.66) をごらんください。リダイアル / ポーズキーの使い方については、「リダイアル機能を使用して送信する」(p.78)

複数の相手先への送信は、同報送信機能でも送信できます。同報送信機能について詳しくは、「複数の相手先に送信する（同報送信）」(p.80) をごらんください。

7 スタートキーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

相手先が通信中などでファクス送信ができなかった場合は、オートリダイアル機能が再送信を試みます。オートリダイアル機能でも送信できなかった場合は、送信結果レポートが印刷されます。送信結果レポートについては、「ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ」（p.130）をごらんください。

読み込んでメモリに蓄積された送信待ちデータまたはリダイアル待ちのデータを削除したい場合は、機能メニューの「ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ」機能で削除できます。詳しくは、「メモリに蓄積された送信文書を削除する」（p.90）をごらんください。

複数ページの原稿は、メモリに読み込んでから送信するため、読み込みは高速で行われます。最大 512 ページをメモリに読み込むことができます。（高解像度の設定のときは、512 ページまで読み込みできない場合があります。）メモリ残量が少なくなると、原稿の読み込みが中断され、その送信ジョブをキャンセルするか、その時点で送信を始めるか選択する画面が表示されます。ジョブのキャンセルを選択すると、そのジョブでこれまで読み込んだ原稿分が削除されます。送信を選択すると、原稿の読み込みは中断され、送信が始まります。読み込んだ分の送信が完了すると、原稿の読み込みが再開されます。

原稿ガラスでファクスを送信する

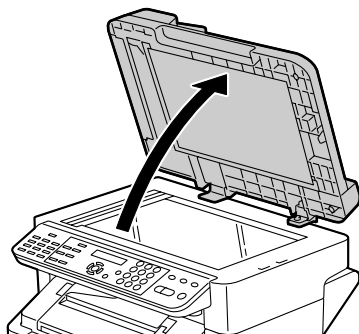
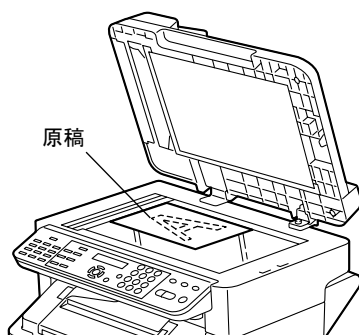
送信可能な用紙サイズは、A4、レター、リーガルのみです。

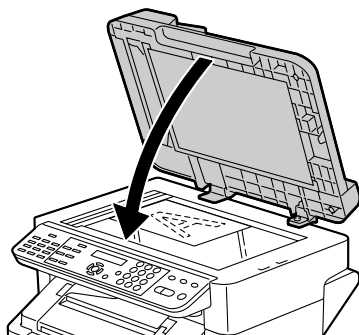
1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させせます。

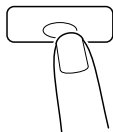
```
18:00      STD      100%
ｰｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲｰ
```

2 ADF に原稿が残っていないか確認します。

原稿ガラスを使って読み込みするときは、ADF に原稿をセットしないでください。

3 ADF を開きます。

4 送信する面を下にして原稿を原稿ガラス上に置き、原稿スケールに沿うように合わせます。

5 ADF を静かに閉じます。

ADF をすばやく閉じると、原稿ガラス上の原稿が動いてしまうことがあります。

6 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

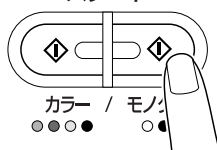
画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.65）をごらんください。

```
*STD  FINE  S/F  H/T
 ◄,► & ｾﾝﾀｸ
```

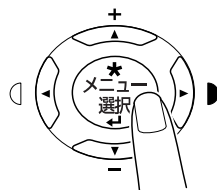
7 ファクスモード画面（ｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ）が表示されていることを確認し、相手先のファクス番号を指定します。指定のしかたには、以下の方法があります。

– 直接入力する
– ワンタッチダイアルキーを使う（グループダイアルも含む）
– 短縮ダイアル番号を使う
– 検索機能（リスト／検索）を使う
– リダイアル / ポーズキーを使う

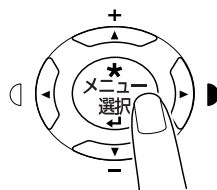
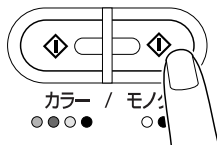
相手先の指定のしかたについては、「相手先を指定する」（p.66）をごらんください。リダイアル / ポーズキーの使い方については、「リダイアル機能を使用して送信する」（p.78）

複数の相手先への送信は、同報送信機能でも送信できます。同報送信機能について詳しくは、「複数の相手先に送信する（同報送信）」（p.80）をごらんください。

8 スタートキーを押します。
スキャン領域を確認する画面が表示されます。

```
ﾌﾞｯｸ ｽｷｬﾝ(A4 )
 ｽｷｬﾝ=ｾﾝﾀｸ    ｻｲｽﾞ=▼
```

9 表示されているスキャン領域でスキャンする場合は、メニュー選択キーを押します。原稿が読み込まれます。
または
表示されているスキャン領域を変更する場合は、▼キーを押し、次に表示される画面で、目的のスキャン領域を選択し、メニュー選択キーを押します。原稿が読み込まれます。

```
*ﾖﾐﾄﾘﾁｭｳ           99%
1234567890        1
```

10 複数ページを読み込む場合は、「ﾂｷﾞﾉ ﾍﾟｰｼﾞ?」というメッセージが表示されたら、原稿を差し替え、メニュー選択キーを押します。
または
原稿の読み込みが終了した場合は、スタートキーを押します。

```
ﾂｷﾞﾉ ﾍﾟｰｼﾞ?(A4 )  1
 ｽｷｬﾝ=ｾﾝﾀｸ ｿｳｼﾝ=ｽﾀｰﾄ
```

送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

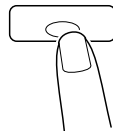
相手先が通信中などでファクス送信ができなかった場合は、オートリダイアル機能が再送信を試みます。オートリダイアル機能でも送信できなかった場合は、送信結果レポートが印刷されます。送信結果レポートについては、「ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ」（p.130）をごらんください。

読み込んでメモリに蓄積された送信待ちデータまたはリダイアル待ちのデータを削除したい場合は、機能メニューの「ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ」機能で削除できます。詳しくは、「メモリに蓄積された送信文書を削除する」（p.90）をごらんください。

複数ページの原稿は、メモリに読み込んでから送信するため、読み込みは高速で行われます。最大 512 ページをメモリに読み込むことができます。（高解像度の設定のときは、512 ページまで読み込みできない場合があります。）メモリ残量が少なくなると、原稿の読み込みが中断され、その送信ジョブをキャンセルするか、その時点で送信を始めるか選択する画面が表示されます。ジョブのキャンセルを選択すると、そのジョブでこれまで読み込んだ原稿分が削除されます。送信を選択すると、原稿の読み込みは中断され、送信が始まります。読み込んだ分の送信が完了すると、原稿の読み込みが再開されます。

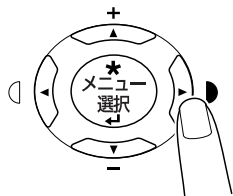
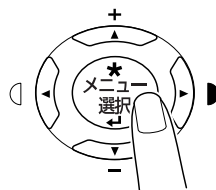
解像度を調整する

ファクス送信する前に、原稿の画質を調整できます。

1 ファクス画質を押します。

2 ◀ または ▶ を使用して、ファクスの解像度を選択し、メニュー選択キーを押します。

 原稿に合った解像度を選択してください。

```
*STD  FINE  S/F  H/T
 ◀,▶ & ｾﾝﾀｸ
```

- STD：手書きなどを含む通常の原稿の場合に設定します。（標準）
- FINE：小さい文字を含む原稿の場合に設定します。（ファイン）
- S/F：新聞などの小さい文字を含む原稿や精密図の場合に設定します。（スーパーファイン：高精細）
- H/T：写真などの濃淡のある原稿の場合に設定します。（ハーフトーン）
「H/T」を選択した場合は、「STD」、「FINE」、「S/F」を選択する画面が表示されます。

ここで設定したファクス画質は、通常の送信では、原稿スキャン後に、手動送信では、送信後にデフォルトに戻ります。よく使用するファクス画質をデフォルトにしておくと便利です。詳しくは、「ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p. 42）をごらんください。

相手先を指定する

相手先の指定のしかたには、以下の方法があります。

- 直接入力する：テンキーで直接ファクス番号を入力します。
- ワンタッチダイアルキーを使う：ワンタッチダイアルキーに登録された相手先を呼び出します。
- 短縮ダイアル番号を使う：短縮ダイアル番号に登録された相手先を呼び出します。
- 検索機能（リスト／検索）を使う：ワンタッチダイアルや短縮ダイアルに登録された相手先を検索し、指定します。
- リダイアル / ポーズキーを使う：最後にダイアルをした相手先を指定します。

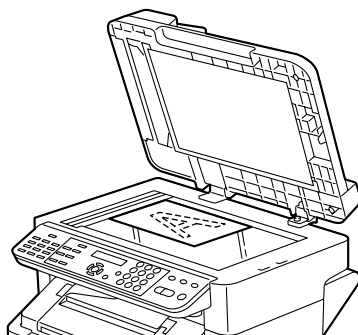
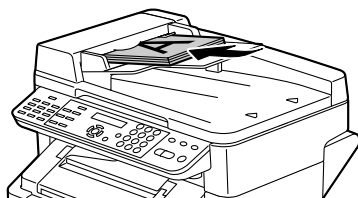
ファクス番号を直接入力して送信する

テンキーを使ってファクス番号を入力します。

1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

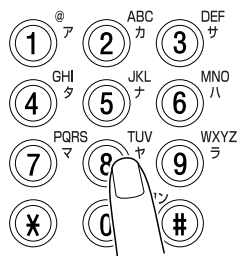
```
18:00      STD      100%
ｰｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲｰ
```

2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.58）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.60）をごらんください。

3 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

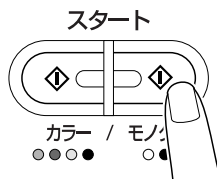
画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.65）をごらんください。

4 テンキーを使って、相手先のファクス番号を入力します。

ファクス番号入力時に使用できるキーは、番号キー（0 ～ 9）、＊キー、# キーです。
ファクス番号入力時にリダイアル / ポーズキーを押すと、2.5 秒のポーズが挿入されます。ポーズはメッセージウィンドウで「P」と表示されます。

本機が PBX 回線に接続されている場合は、外線接続番号を「ｿｳｼﾝｾｯﾃｲ」で設定できます。（p. 45）# キーを押すと、自動的に外線へ接続します。

入力したファクス番号を消去するには、キャンセル /C キーを 1 秒程度長押しをするか、ストップ / リセットキーを押します。

5 スタートキーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

> 送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

ワンタッチダイアルキーを使って送信する

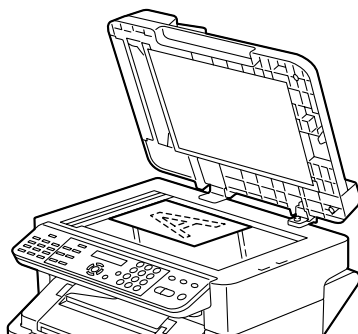
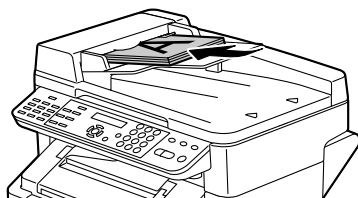
よく使うファクス番号を、ワンタッチダイアルキーに登録します。ファクス番号の手入力をしないため、簡単に呼び出せ、正確に相手先を指定できます。

> 相手先は、前もってワンタッチダイアルキーに登録されている必要があります。詳しくは、「ワンタッチダイアルを登録する」（p.103）を参照ください。

1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

```
18:00      STD      100%
ーゲンコウ ヲ セットシテクダサイー
```

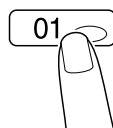
2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.58）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.60）をごらんください。

3 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.65）をごらんください。

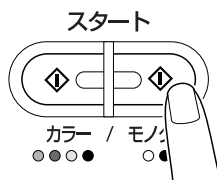
4 目的のワンタッチダイアルキーを押します。
相手先の名前がメッセージウィンドウに表示されます。

☎=ABC
(ｿｳｼﾝ=ｽﾀｰﾄ)

複数相手先を指定したい場合は、グループダイアルが登録されたワンタッチダイアルキーを押すか、同報送信を指定します。

入力を間違えた場合には、◀ または ▶ キーで間違えた場所まで移動し、キャンセル /C キーを押します。

ファクス番号が登録されていないワンタッチダイアルキーを押した場合、「ﾌｧｸｽﾊﾞﾝｺﾞｳﾃﾞﾊｱﾘﾏｾﾝ」というメッセージが表示されます。また、何も登録されていないワンタッチダイアルキーを押した場合、「ﾄｳﾛｸ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ」というメッセージが表示されます。ファクス番号が登録されているワンタッチダイアルキーを押してください。

5 スタートキーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

短縮ダイアル番号を使って送信する

よく使うファクス番号を、短縮ダイアルに登録します。ファクス番号の手入力をしないため、簡単に呼び出せ、正確に相手先を指定できます。

相手先は、前もって短縮ダイアルに登録されている必要があります。詳しくは、「短縮ダイアルを登録する」（p.109）を参照ください。

1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

```
18:00      STD      100%
ｰｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲｰ
```

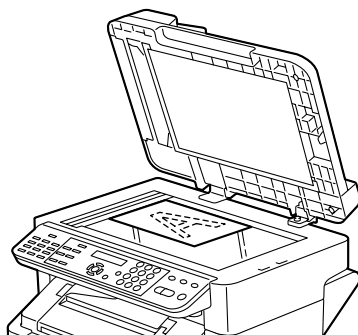
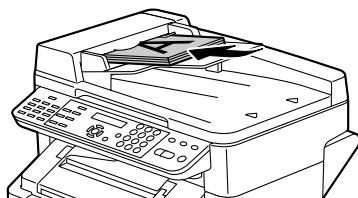
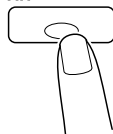
2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.58）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.60）をごらんください。

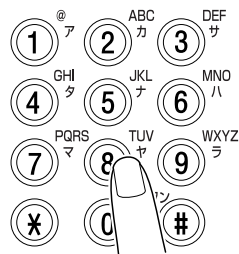
3 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.65）をごらんください。

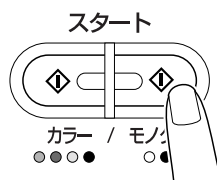
4 短縮ダイアルキーを押します。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ=
```

5 テンキーで、目的の短縮ダイアル番号（3 桁）を押します。
相手先の名前がメッセージウィンドウに表示されます。

入力を間違えた場合には、キャンセル /C キーを押します。

ファクス番号が登録されていない短縮ダイアル番号を入力した場合、「ﾌｧｸｽﾊﾞﾝｺﾞｳﾃﾞﾊｱﾘﾏｾﾝ」というメッセージが表示されます。
また、何も登録されていない短縮ダイアル番号を入力した場合、「ﾄｳﾛｸ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ」というメッセージが表示されます。ファクス番号が登録されている短縮ダイアル番号を入力してください。

☎=ABC
（ソウシン=スタート）

6 スタートキーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

リスト機能で検索して送信する

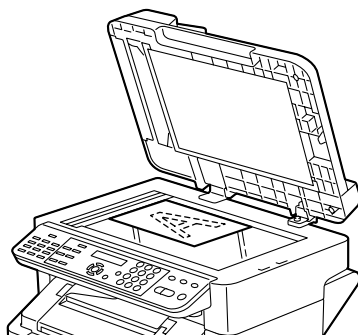
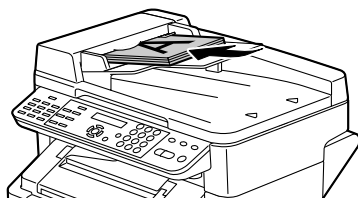
ワンタッチダイアルまたは短縮ダイアルに登録された相手先は、リスト機能や検索機能で検索できます。

リスト機能を使用した検索のしかたは、以下のとおりです。

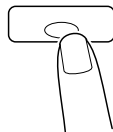
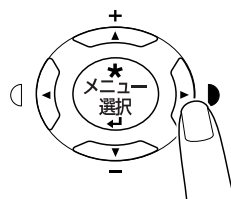
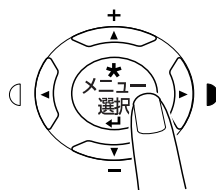
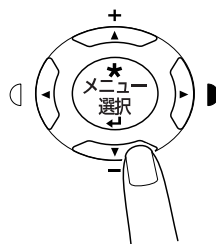
1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

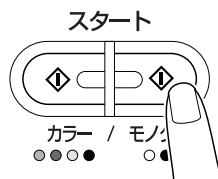
18:00　　STD　　100%
ーゲンコウ ヲ セットシテクダサイー

2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.58）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.60）をごらんください。

3 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.65）をごらんください。

4 短縮ダイアルを 2 回押します。

5 ◀ または ▶ を使用して、「ﾘｽﾄ」を選択し、メニュー選択キーを押します。
ワンタッチダイアルおよび短縮ダイアルに登録された相手先のリストが表示されます。

```
*ﾘｽﾄ          ｹﾝｻｸ
 ◀, ▶  &  ｾﾝﾀｸ
```

6 ▲または▼キーで目的の相手先を選択します。

7 スタートキーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

検索機能で検索して送信する

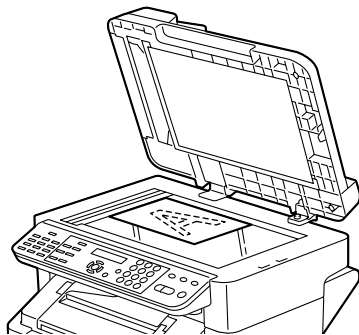
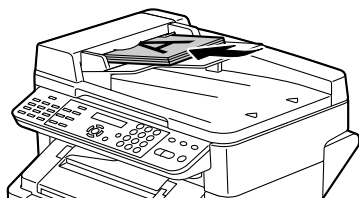
ワンタッチダイアルまたは短縮ダイアルに登録された相手先は、リスト機能や検索機能で検索できます。

検索機能を使用した検索のしかたは、以下のとおりです。

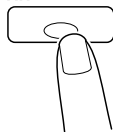
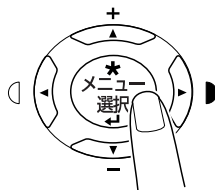
1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

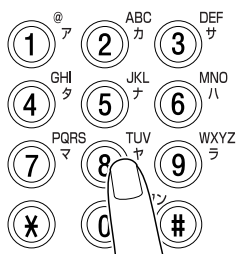
```
18:00     STD     100%
-ｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ-
```

2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.58）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.60）をごらんください。

3 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.65）をごらんください。

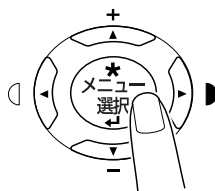
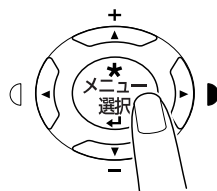
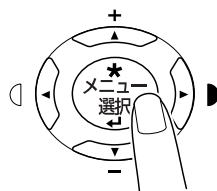
4 短縮ダイアルを 2 回押します。

5 ◀ または ▶ を使用して、「ｹﾝｻｸ」を選択し、メニュー選択キーを押します。
検索文字を入力する画面が表示されます。

6 テンキーで、検索したい相手先の名前の一部を入力します。

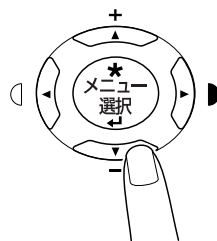
ワンタッチダイアルまたは短縮ダイアル番号に登録している名前を入力してください。文字の入力については、「入力のしかた」（p.141）をごらんください。

10 文字を検索文字として入力できます。

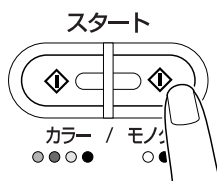
ｹﾝｻｸｰ>>A_
OK=ｾﾝﾀｸ [1]

7 メニュー選択キーを押します。
手順 6 で入力した検索文字に該当する相手先が表示されます。

該当する名前がワンタッチダイアルまたは短縮ダイアルから検索されなかった場合は、「(0)」が表示されたあと、検索文字入力画面が表示されます。

A (2)
ｹﾝｻｸ=ｾﾝﾀｸ ﾋｮｳｼﾞ=▼▲

8 検索結果から相手先を選択する場合は、手順 10 へ進みます。
または
検索結果をさらに絞り込んで検索する場合は、メニュー選択キーを押し、検索文字を入力します。

9 メニュー選択キーを押します。

10 ▲または▼キーで目的の相手先を選択します。

目的の相手先名が検索結果に表示されなかった場合、キャンセル /C キーを 2 回押し、検索文字入力画面に戻ります。別の検索文字を入力してみてください。

11 スタートキーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

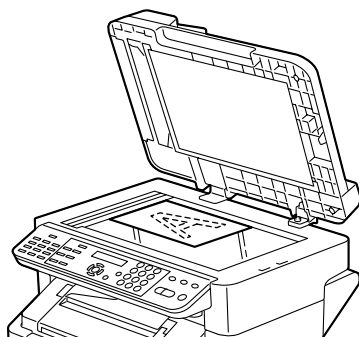
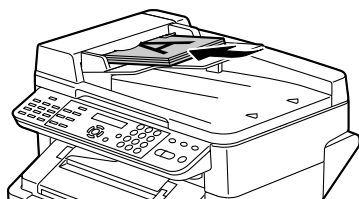
送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

リダイアル機能を使用して送信する

最後に送信したファクス番号で送信するには、リダイアル / ポーズキーを押してファクス番号を呼び出せます。

1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

18:00　STD　100%
-ｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ-

2 原稿をセットします。

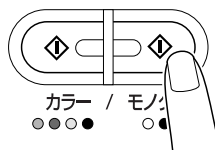
ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.58）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.60）をごらんください。

3 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.65）をごらんください。

4 リダイアル / ポーズキーを押し、目的のファクス番号が表示されたか確認します。

```
☎=1234567890
        (ソウシン=スタート)
```

5 スタートキーを押します。原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

複数の相手先を指定する

1 回のファクス送信で複数の相手先に送信することができます。複数の相手先に送信する方法は 2 種類あります。

- グループダイアル機能を使う
- 同報送信機能を使う

グループダイアル機能での相手先の指定のしかたは、「ワンタッチダイアルキーを使って送信する」（p.68）をごらんください。

同報送信機能での送信のしかたは、以下をごらんください。

複数の相手先に送信する（同報送信）

複数の相手先を直接入力、ワンタッチダイアルキー、短縮ダイアル番号、検索機能から指定できます。

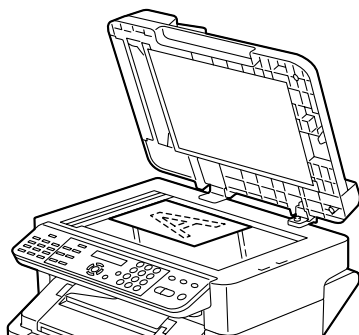
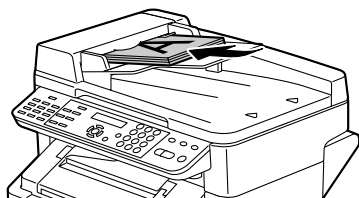
1 度に最大 125 件の相手先を選択できます。相手先をワンタッチダイアルキーで指定した場合は最大 9 件、短縮ダイアルでは最大 100 件、直接入力では最大 16 件指定できます。

送信結果レポートで、すべての相手先に送信されたかを確認できます。送信結果レポートについては、「送信／受信結果をディスプレイで確認する」（p.128）または「レポートとリストについて」（p.129）をごらんください。

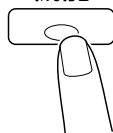
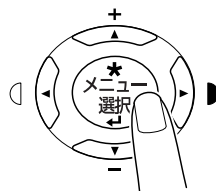
1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

```
18:00      STD      100%
ーｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲー
```

2 原稿をセットします。

ADF への原稿のセットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.58）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.60）をごらんください。

3 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.65）をごらんください。

4 機能キーを押します。

5 「ｼﾞｭﾝｼﾞ ﾄﾞｳﾎｳ」画面が表示されていることを確認し、メニュー選択キーを押します。

6 下記の方法で相手先を指定し、目的の相手先をすべて指定するまで繰り返します。

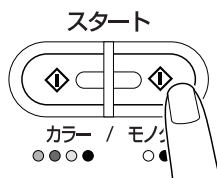
```
No. 001=ABC
 OK=センタク   カンリョウ=スタート
```

– 直接入力する：テンキーでファクス番号を直接入力します。メニュー選択キーを押して、次の相手先を指定します。

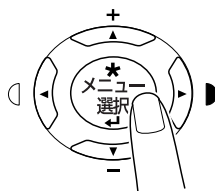
– ワンタッチダイアルキーを使う（グループダイアルを含む）：目的のファクス番号が登録されているワンタッチダイアルキーを押します。メニュー選択キーを押して、次の相手先を指定します。

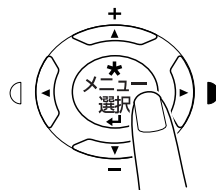
– 短縮ダイアルを使う：短縮ダイアルキーを押し、テンキーで目的の短縮ダイアル番号（3 桁）を入力します。メニュー選択キーを押して、次の相手先を指定します。

– 検索機能（リスト／検索）を使う：短縮ダイアルキーを 2 回押し、リスト機能または検索機能から目的の相手先を検索します。（詳しくは、「リスト機能で検索して送信する」（p.72）または「検索機能で検索して送信する」（p.75）をごらんください。）メニュー選択キーを押して、次の相手先を指定します。

7 スタートキーを押します。相手先を確認するかどうかのメッセージが表示されます。

```
アイテサキ ヲ カクニンシマスカ?
 OK=センタク     ソウシン=スタート
```

8 相手先を確認する場合は、メニュー選択キーを押します。手順 6 で指定した相手先が表示されます。

相手先を確認しない場合は、手順 11 に進んでください。

9 最初に表示された相手先を確認したら、メニュー選択キーを押します。次の相手先が表示されます。

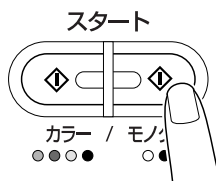
```
No.001=ABC
 OK=ｾﾝﾀｸ      ｹｽ=ｷｬﾝｾﾙ
```

または
相手先の 1 つを削除したい場合は、キャンセル /C キーを押します。

相手先確認画面に表示される相手先は、指定した順番に表示されます。

10 すべての相手先を確認したら、「ｶﾝﾘｮｳ = ｽﾀｰﾄ」が表示されます。

```
No.004=_
 ｶﾝﾘｮｳ=ｽﾀｰﾄ          [1]
```

11 スタートキーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。送信を中止すると、指定した相手先がすべてクリアされます。

送信中、「ｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ」というメッセージが表示されますが、原稿は 1 度読み込ませるだけで、設定したすべての送信先に送信されます。

指定した時間にファクスを送信する（時刻指定送信）

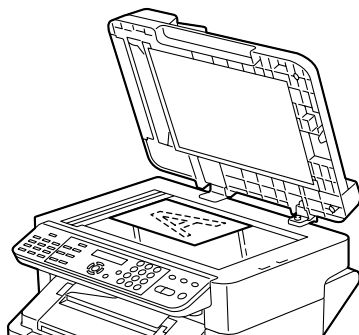
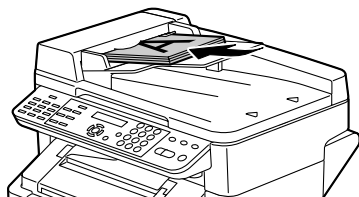
原稿をメモリに読み込ませ、指定した時間に送信できます。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信できるため経済的です。

時刻指定送信をするには、本機の時刻設定をしてください。詳しくは、「ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ」（p. 47）をごらんください。

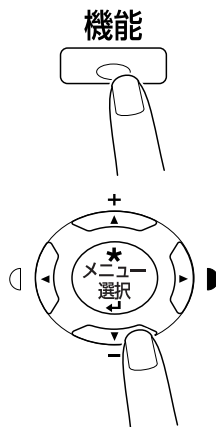
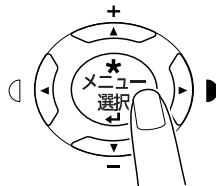
時刻指定送信は、同報送信機能を併用できます。

1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

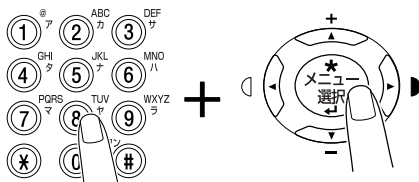
2 原稿をセットします。

ADF への原稿のセットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.58）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.60）をごらんください。

3 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.65）をごらんください。

4 機能キーを押し、▼キーを押します。

5 「ｼﾞｺｸ ｼﾃｲ ｿｳｼﾝ」画面が表示されていることを確認し、メニュー選択キーを押します。

6 テンキーで送信時間を設定し、メニュー選択を押します。

24 時間形式で入力してください。

入力した時間を修正するときは、キャンセル /C キーを押します。

7 相手先を指定します。

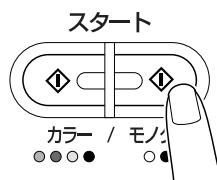
詳しくは、「相手先を指定する」（p.66）をごらんください。

```
=ﾌｧｸｽﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ﾆｭｳﾘｮｸ
      ﾏﾀﾊ ｷﾉｳｾﾝﾀｸ [1]
```

同報送信機能を使用して複数の相手先に送信したい場合は、機能キーを押すと、「ｼﾞｭﾝｼﾞ ﾄﾞｳﾎｳ」画面が表示されます。すべての相手先の入力を完了後、スタートキーを押すと、読み込みが開始さます。読込みが完了後、本機は待機状態になります。同報送信機能については、「複数の相手先に送信する（同報送信）」（p.80）をごらんください。

8 スタートキーを押します。
読込みが開始され、待機状態になります。
待機状態中は画面に **T** が表示されます。

時刻指定送信をキャンセルしたい場合は、機能メニューから「ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ」を選択します。詳しくは、「メモリに蓄積された送信文書を削除する」（p.90）をごらんください。

```
15:14     STD T    99%
ｰｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲｰ
```

ファクスを手動送信する

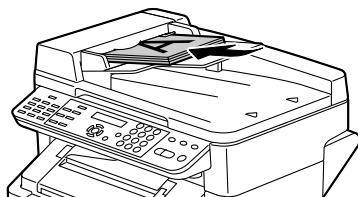
電話を使用後ファクスを手動送信する

本機に外付け電話機を接続して、電話とファクスの両方で 1 つの回線を使うときに、電話が終了後、ファクス送信をすることができます。相手先にファクス送信をすることを告げてから送信でき、便利です。

1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させせます。

```
18:00      STD      100%
-ゲンコウ ヲ セットシテクダサイ-
```

2 ADF に原稿をセットします。

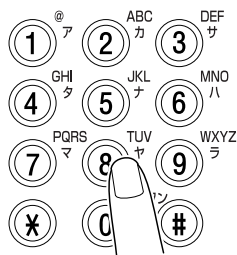
ファクスを手動送信する場合は、原稿を ADF にのみセットしてください。原稿ガラスにセットして送信するとエラーになります。

3 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

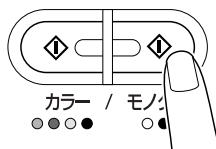
画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.65）をごらんください。

4 受話器を上げて、発信音 " ツー " が 聞こえることを確認します。

```
*ツウワチュウ*
```

5 相手先のファクス番号を外付け電話機からダイアルします。
または
相手先のファクス番号を操作パネルのテンキーで指定します。

回線の種類にパルスが設定されている場合は、＊キーを押して一時的にトーンに切り替えます。

6 電話での会話の後、相手側でファクス受信をするキーを押します。
相手先のファクスの準備が完了したら、警告音が鳴ります。

7 スタートキーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

8 受話器を置きます。

送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

オンフックキーを使用してファクスを手動送信する

1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

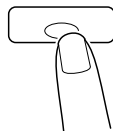
18:00 STD 100%
ーゲ ンコウ ヲ セットシテクダ サイー

2 ADF に原稿をセットします。

ファクスを手動送信する場合は、原稿を ADF にのみセットしてください。原稿ガラスにセットして送信するとエラーになります。

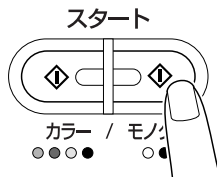
3 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.65）をごらんください。

4 オンフックキーを押します。

5 相手先のファクス番号を指定します。

回線の種類にパルスが設定されている場合は、＊キーを押して一時的にトーンに切り替えます。

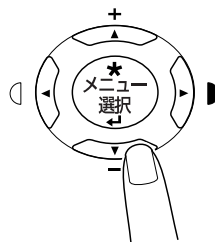
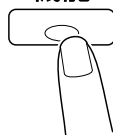
6 スタートキーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

メモリに蓄積された送信文書を削除する

タイマー送信待ちなど、読み込んだ原稿は、メモリに蓄積されます。メモリに蓄積されている文書を特定して削除できます。

1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

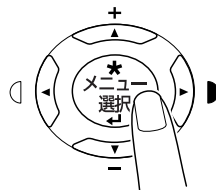
```
18:00      STD      100%
-ｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ-
```

2 機能キーを押して▼キーを２回押します。

3 「ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。
蓄積されているジョブが表示されます。

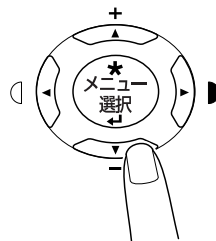
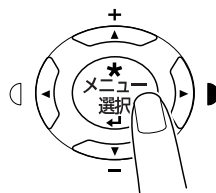
3 ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ?
OK=ｾﾝﾀｸ

メモリにジョブが無ければ、「ﾖﾔｸ ﾊ ｱﾘﾏｾﾝ」が表示されます。

以下のジョブのタイプが表示されます。

– ﾒﾓﾘｿｳｼﾝ : 通常送信（待機中）
– ﾄﾞｳﾎｳ : 同報送信
– ﾀｲﾏｰ : 時刻指定送信
– ｽｷｬﾝ : メール送信（スキャン文書）

01 [18:00] ﾀｲﾏｰ
ｹｽ=ｾﾝﾀｸ (ｶｸﾆﾝ=▶)

4 ▲または▼キーを使って、削除したいジョブを選択します。

表示されているジョブの相手先を確認したい場合は、▶ キーを押します。確認後はメニュー選択キーを押して前の画面に戻ります。

5 メニュー選択キーを押して、表示されているジョブを削除します。

*01 [18:00] ﾀｲﾏｰ
ｷｬﾝｾﾙ ｼﾏｼﾀ*

6 他のジョブの削除したい場合は、手順 3 ～ 5 を繰り返します。

ファクスヘッダについて

設定メニューの「ﾍｯﾀﾞ」が「ｵﾝ」になっていると、相手先がファクス受信をしたときに発信元情報（送信者名、ファクス番号、送信日時、セッション番号、ページ番号）が印字されます。

No.	項目	説明
1	送信日時	ファクスが送信された日時が表示されます。時刻は24 時間形式で表示されます。
2	ファクス番号	ファクス番号が表示されます。
3	送信者名	送信者の名前が表示されます。
4	セッション番号	ファクスを送信するセッション番号が表示されます。
5	ページ番号	ページ番号が、「ページ番号／総ページ数」で表示されます。 外付け電話機やオンフックキーを使った送信では総ページ数は表示されません。

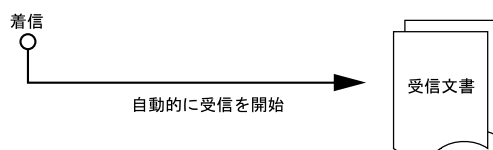
ヘッダを印字するには、設定メニューの「ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ」の「ﾊｯｼﾝ ﾓﾄ」発信元設定をしたうえで、「ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ」の「ﾍｯﾀﾞ」の設定を「ｵﾝ」にしてください。詳しくは、「ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p. 42）をごらんください。

ファクスを受信する

ファクスを自動受信する

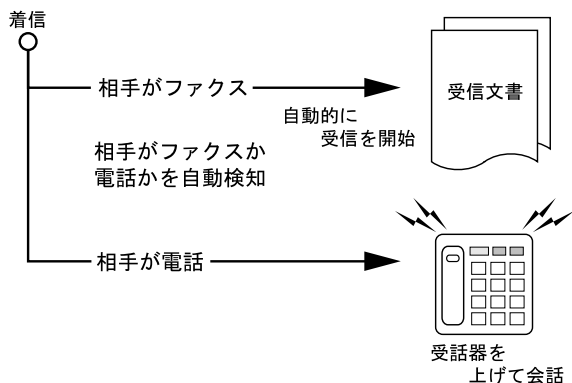
本機の電源を OFF にすると、ファクスを受信することができません。必ず電源を ON のままにしておいてください。

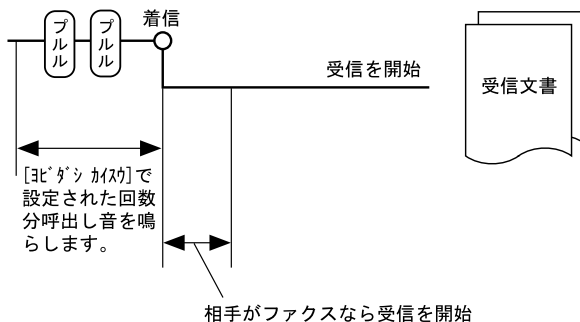
受信したファクスの印刷には A4/ レターサイズの用紙のみ対応しています。トレイ 1 もしくはトレイ 2 に必ず A4/ レター / リーガル（トレイ 1 のみ対応）サイズの用紙をセットしてください。

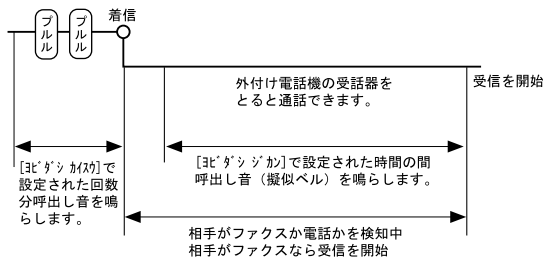
設定メニューの「ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」が「ｵｰﾄ RX」に設定されている場合、受信のために特別な作業はありません。着信後、設定した回数の呼び出し音が鳴った後、受信が始まります。

設定メニューの「ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」が「ﾏﾆｭｱﾙ RX」に設定されている場合、ファクスは自動的に受信されません。詳しくは、「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p.42）をごらんください。

本機の「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」の設定が「ｵﾝ」の場合、ファクス受信後、自動的に印刷を開始しません。受信したドキュメントはメモリに保存され、「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」設定で指定した時間に印刷されます。また、「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」の設定を「ｵﾌ」にすると印刷されます。設定メニューの「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」については、「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p.42）を、「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」の設定のしかたについて詳しくは、「メモリ受信モードを設定する」（p.51）をごらんください。

本機はポーリング受信に対応していません。

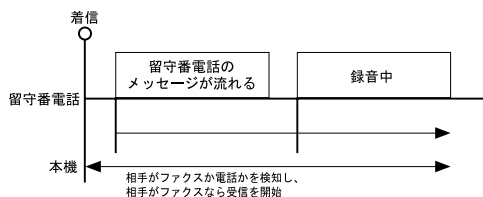
■ TEL/FAX 切替え：電話機が本機と接続され、1 つの回線を電話とファクスで使用している場合に便利な機能です。

＜相手側がファクスのとき＞

ファクスを受信した場合、自動的にファクス受信を開始します。

<相手側が電話のとき>

電話を受信した場合、電話機から呼び出し音が鳴ります。呼び出し音が鳴っている間に受話器をとると通話ができます。

この機能は電話機が接続され、設定メニューの「ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」が「ｵｰﾄ RX」に設定されている場合に有効です。「ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」について詳しくは、「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p.42）をごらんください。

設定メニューの「TEL/FAX ｷﾘｶｴ」が「ｵﾌ」に設定されている場合、通話ができません。詳しくは、「ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p.45）をごらんください。

本機の「TEL/FAX ｷﾘｶｴ」が「ｵﾝ」の状態で着信した場合、電話機に出なかった場合でも相手側に通話料がかかります。

■ 留守番電話：本機は電話機の留守番電話機能を使うことができます。
相手がファクスのときは、ファクス受信に自動的に切替わり、受信が開始されます。
相手が電話のときは、送信側に対して留守番電話のメッセージが流れます。

設定メニューの「TEL/FAX ｷﾘｶｴ」が「ｵﾝ」に設定されている場合、この機能は使うことができません。詳しくは、「ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p.45）をごらんください。

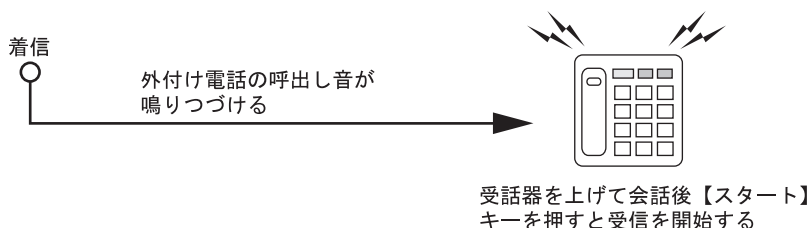
電話機の留守番電話機能を利用しない場合は必ず「ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ」を「ｵﾌ」にしてください。詳しくは、「ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p.45）をごらんください

留守番電話を接続して使用する場合は、設定メニューの「ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ」を「ｵﾝ」に設定し、留守番電話機側の応答するまでの呼び出し回数は本機設定メニューの「ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ」より短く設定してください。
設定メニューの「ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ」については、「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p.42）を、「ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ」については「ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p.45）をごらんください。

ファクスを手動受信する

本機の電源を OFF にすると、ファクスを受信することができません。必ず電源を ON のままにしておいてください。

受信したファクスの印刷には A4/ レターサイズの用紙のみ対応しています。トレイ 1 もしくはトレイ 2 に必ず A4/ レター / リーガル（トレイ 1 のみ対応）サイズの用紙をセットしてください。

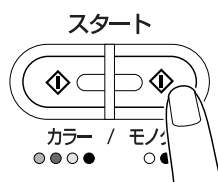
電話機が本機に接続され、1 つの回線を電話とファクスで使用している場合、受話器をあげてファクス受信ができます。

1 電話が鳴ったら、受話器を上げます。

受話器を上げないと、「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」の「ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ」で設定した回数の呼び出し音が鳴った後、受信待ちの状態になります。手順 2 へ進んでください。

「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」の「ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」が「ﾏﾆｭｱﾙ RX」に設定されている場合、呼び出し音は鳴り続けます。

外付け電話機を接続していない場合は、オンフックキーを押してください。

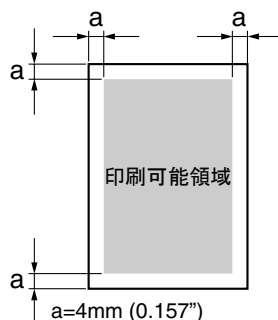
2 スタートキーを押します。
ファクス受信が始まります。

電話での会話が終了後、スタートキーを押してファクス受信をします。

3 受話器を置きます。

受信したファクスを印刷する

印刷可能領域について

すべての用紙サイズにおいて、印刷可能領域は用紙の端から 4 mm までです。

印刷可能領域は、相手先の原稿読み込み領域によって変わることがあります。

送信者情報を追加して印刷する

設定メニューの「ﾌｯﾀ」を「ｵﾝ」にすると、受信ファクスを印刷するときに、送信者のファクス番号、受信日時、セッション番号、ページ番号を、ページ下部の端から 4 mm の部分に印字できます。

No.	項目	説明
1	本機のファクス番号	設定メニューの「ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ」で設定した本機のファクス番号が表示されます。
2	受信日時	ファクスが受信された日時が表示されます。時刻は 24 時間形式で表示されます。
3	送信者のファクス番号	送信者のファクス番号が表示されます。
4	セッション番号	ファクスを受信するセッション番号が表示されます。
5	ページ番号	ページ番号が表示されます。

フッタを印字するには、設定メニューの「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」の「ﾌｯﾀ」の設定を「ｵﾝ」にしてください。詳しくは、「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲのﾌｯﾀ」（p. 44）をごらんください。

相手先を登録する

ファクス登録機能について

頻繁に使うファクス番号は、ワンタッチダイアル、短縮ダイアル、グループダイアルとして登録でき、送信時に簡単に呼び出すことができます。また、登録することで、ファクス番号の入力エラーを防ぐことができます。

登録には、以下の種類があります。

- ワンタッチダイアル：ワンタッチダイアルキーにファクス番号を登録します。ワンタッチダイアルキーを押すと、ファクス番号を呼び出すことができます。登録のしかたについては、「ワンタッチダイアル」（p.103）をごらんください。
- 短縮ダイアル：短縮ダイアルにファクス番号を登録します。短縮ダイアルキーを押し、短縮ダイアル番号をテンキーで入力すると、ファクス番号を呼び出すことができます。登録のしかたについては、「短縮ダイアル」（p.109）をごらんください。
- グループダイアル：複数の相手先をグループとしてまとめて、ひとつのワンタッチダイアルキーに登録します。ワンタッチダイアルキーを押すと、グループを呼び出すことができます。登録のしかたについては、「グループダイアル」（p.116）をごらんください。

相手先をワンタッチダイアルまたは短縮ダイアルに登録すると、検索機能を使用して、相手先を検索できるようになります。検索機能の使用方法については、「リスト機能で検索して送信する」（p.72）または「検索機能で検索して送信する」（p.75）をごらんください。

ワンタッチダイアル

ワンタッチダイアルを登録する

頻繁に使うファクス番号は、ワンタッチダイアルに登録します（最大 9 件）。

ファクス送信時には、ワンタッチダイアルキーを押して、ファクス番号を呼び出します。

複数の相手先を 1 つのワンタッチダイアルキーに登録する場合は、グループダイアルとして登録してください。グループダイアルの登録のしかたは、「グループダイアルを登録する」（p.116）をごらんください。

1 メニュー選択キーを押し、▼キーを 3 回押します。

2 「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

3 「ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲｱﾙ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

1 ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲｱﾙ?
OK=ｾﾝﾀｸ

4 ファクス番号を登録したいワンタッチダイアルキーを押します。

選択したワンタッチダイアルキーにすでにファクス番号が登録されている場合は、「ﾄｳﾛｸｽﾞﾐﾃﾞｽ!」というメッセージが表示されます。メニュー選択キーを押して、何も登録されていないキーを押してください。

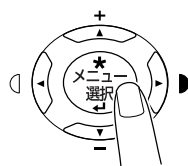
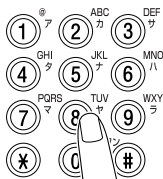
5 ワンタッチダイアルの名前を入力し、メニュー選択キーを押します。

名前には20文字まで入力できます。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.141）をごらんください。

登録をキャンセルするには、キャンセル /C キーを押します。（名称を入力している途中で登録をキャンセルする場合は、メニュー選択キーを押してからキャンセル /C キーを押します。）

6 テンキーで相手先のファクス番号を入力し、メニュー選択キーを押します。

```
☎=1234567890_
 OK=ｾﾝﾀｸ             [1]
```

ファクス番号には、50 桁まで入力できます。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.141）をごらんください。

登録をキャンセルするには、キャンセル /C キーを押します。（名称を入力している途中で登録をキャンセルする場合は、メニュー選択キーを押してからキャンセル /C キーを押します。）

7 モデムスピードを選択し、メニュー選択キーを押します。
入力した情報が、ワンタッチダイアルキーに登録され、「ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ」というメッセージが表示されます。

```
*33.6      14.4      9.6
 ◀,▶ & ｾﾝﾀｸ
```

送信エラーが発生する場合、14.4 または 9.6 のモデムスピードを選択してください。

```
ﾜﾝﾀｯﾁ01
            ﾄｳﾛｸ ｼﾏｼﾀ*
```

```
ーﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸー
 (ﾄｳﾛｸ ｶﾝﾘｮｳ=ｷｬﾝｾﾙ)
```

8 続けて別のワンタッチダイアルを登録する場合は、ワンタッチダイアルキーを押して、手順 5 からの操作を繰り返します。
または
登録を終了して、ファクスモード画面に戻る場合は、ファクスモード画面が表示されるまで、キャンセル /C キーを押します。

キャンセル/C

ワンタッチダイアルを変更、削除する

登録したワンタッチダイアルの情報は修正できます。

1 メニュー選択キーを押し、▼キーを 3 回押します。

2 「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

3 「ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲｱﾙ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

4 修正または削除したいワンタッチダイアルが登録されているキーを押します。

```
ﾄｳﾛｸｽﾞﾐﾃﾞｽ! ﾎｼﾞｼﾏｽｶ?
 OK=ｾﾝﾀｸ ﾍﾝｼｭｳ=ｷｬﾝｾﾙ
```

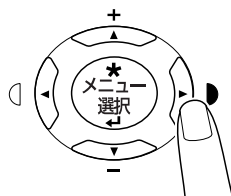
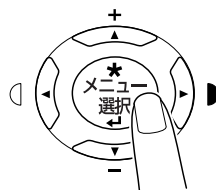
5 キャンセル /C キーを押します。

グループダイアルが登録されているワンタッチダイアルキーを押すと、「ｸﾞﾙｰﾌﾟ」というメッセージが画面の右上に表示されます。グループダイアルを削除する場合は、キャンセル /C キーを押します。

グループダイアルを修正する場合は、「グループダイアルを変更、削除する」（p.119）をごらんください。

6 ◀ キーまたは ▶ キーを押して、「ﾍﾝｼｭｳ」または「ｼｮｳｷｮ」を選択し、メニュー選択キーを押します。

```
*ﾍﾝｼｭｳ      ｼｮｳｷｮ
 ◀, ▶ & ｾﾝﾀｸ
```

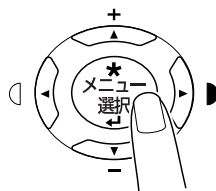
「ﾍﾝｼｭｳ」を選択した場合は、ワンタッチダイアルの名前が表示されます。手順 7 へ進みます。

「ｼｮｳｷｮ」を選択した場合は、ワンタッチダイアルに登録された情報が削除され、「ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ」というメッセージが表示されます。

グループダイアルに使われているワンタッチダイアルを削除した場合は、グループダイアルからも削除されます。

```
ﾜﾝﾀｯﾁ01
         ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ*
```

7 名前、ファクス番号、モデムスピードを必要に応じて変更します。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.141）をごらんください。

編集しようとしたワンタッチダイアルが、グループダイアルに登録されている場合、グループダイアル内の該当する登録を残すかどうか確認するメッセージ「ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾆ ﾎｼﾞ ｼﾏｽｶ」が表示されます。メニュー選択キーを押すと、グループダイアル内の該当する登録が変更されます。キャンセル /C キーを押すと、グループダイアル内の該当する登録は削除されます。

8 変更が終了したら、メニュー選択キーを押します。
「ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ」というメッセージが表示されます。

ワンタッチ01
ヘンシュウ シマシタ*

ートウロクスル キー ヲ センタクー
（トウロク カンリョウ=キャンセル）

9 続けて別のワンタッチダイアルの情報を変更する場合は、ワンタッチダイアルキーを押します。
または
変更を終了して、ファクスモード画面に戻る場合は、ファクスモード画面が表示されるまで、キャンセル /C キーを押します。

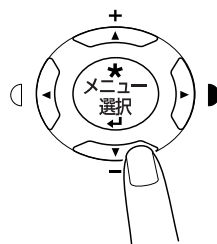
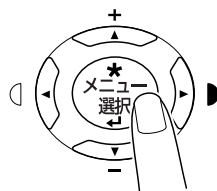
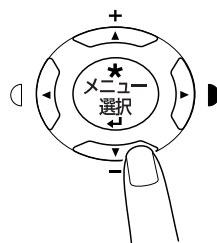
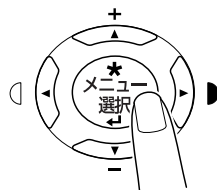
キャンセル/C

短縮ダイアル

短縮ダイアルを登録する

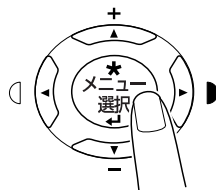
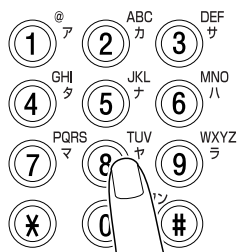
頻繁に使うファクス番号は、短縮ダイアルに登録します（最大 100 件）。

ファクス送信時には、短縮ダイアル番号を入力して、ファクス番号を呼び出します。

1 メニュー選択キーを押し、▼キーを 3 回押します。

2 「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押し、▼キーを押します。

3 「ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

```
2 タンシュク ダイアル?
 OK=センタク
```

4 テンキーで 3 桁の短縮ダイアル番号を入力します。（例 : 011）

```
タンシュク ダイアル=_
```

> 選択した短縮ダイアル番号にすでにファクス番号が登録されている場合は、「ﾄｳﾛｸｽﾞﾐﾃﾞｽ!」というメッセージが表示されます。メニュー選択キーを押して、何も登録されていない番号を押してください。

5 短縮ダイアルの名前を入力し、メニュー選択キーを押します。

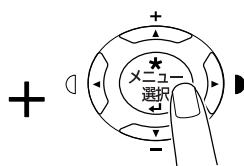
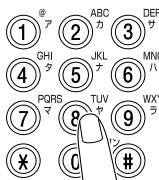
```
ナマエ=ABC_
 OK=センタク        [A]
```

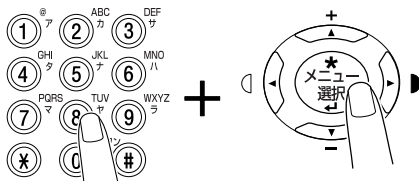
> 名前には20文字まで入力できます。

> 文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.141）をごらんください。

> 登録をキャンセルするには、キャンセル /C キーを押します。（名称を入力している途中で登録をキャンセルする場合は、メニュー選択キーを押してからキャンセル /C キーを押します。）

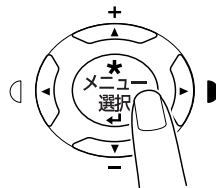
6 テンキーで相手先のファクス番号を入力し、メニュー選択キーを押します。

```
☎=1234567890_
 OK=ｾﾝﾀｸ              [1]
```

ファクス番号には、50 桁まで入力できます。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.141）をごらんください。

登録をキャンセルするには、キャンセル /C キーを押します。（名称を入力している途中で登録をキャンセルする場合は、メニュー選択キーを押してからキャンセル /C キーを押します。）

7 モデムスピードを選択し、メニュー選択キーを押します。
入力した情報が、短縮ダイアル番号に登録され、短縮ダイアル番号を入力する画面が表示されます。

```
*33.6      14.4      9.6
 ◀,▶ & ｾﾝﾀｸ
```

送信エラーが発生する場合、14.4 または 9.6 のモデムスピードを選択してください。

```
*ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ003
           ﾄｳﾛｸ ｼﾏｼﾀ*
```

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ=_
  (ﾄｳﾛｸ ｶﾝﾘｮｳ=ｷｬﾝｾﾙ)
```

8 続けて別の短縮ダイアルを登録する場合は、短縮ダイアル番号を入力して、手順 5 からの操作を繰り返します。
または
登録を終了して、ファクスモード画面に戻る場合は、ファクスモード画面が表示されるまで、キャンセル /C キーを押します。

キャンセル/C

短縮ダイアルを変更、削除する

登録した短縮ダイアルの情報は修正できます。

1 メニュー選択キーを押し、▼キーを3回押します。

2 「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押し、▼キーを押します。

3 「ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

4 修正または削除したい短縮ダイアル番号を入力します。

トウロクズ゛ミデ゛ス! ホシ゛シマスカ?
OK=センタク ヘンシュウ=キャンセル

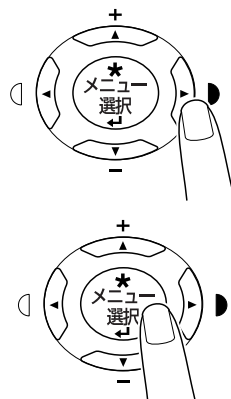
5 キャンセル /C キーを押します。

6 ◀ キーまたは ▶ キーを押して、「ﾍﾝｼｭｳ」または「ｼｮｳｷｮ」を選択し、メニュー選択キーを押します。

```
*ﾍﾝｼｭｳ      ｼｮｳｷｮ
 ◄,► & ｾﾝﾀｸ
```

「ﾍﾝｼｭｳ」を選択した場合は、短縮ダイアルの名前が表示されます。手順 7 へ進みます。

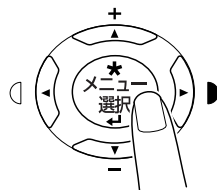
「ｼｮｳｷｮ」を選択した場合は、短縮ダイアルに登録された情報が削除され、短縮ダイアル入力画面が表示されます。

グループダイアルに使われている短縮ダイアルを削除した場合は、グループダイアルからも削除されます。

```
*ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
        ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ*
```

7 名前、ファクス番号、モデムスピードを必要に応じて変更します。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.141）をごらんください。

編集した短縮ダイアルが、グループダイアルに登録されている場合、グループダイアル内の該当する登録を残すかどうか確認するメッセージが表示されます。メニュー選択キーを押すと、グループダイアル内の該当する登録が変更されます。キャンセル /C キーを押すと、グループダイアル内の該当する登録は削除されます。

8 変更が終了したら、メニュー選択キーを押します。
短縮ダイアル入力画面が表示されます。

```
*ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ002
          ﾍﾝｼｭｳ ｼﾏｼﾀ*
```

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ=_
 (ﾄｳﾛｸ ｶﾝﾘｮｳ=ｷｬﾝｾﾙ)
```

9 続けて別の短縮ダイアルの情報を変更する場合は、短縮ダイアル番号を入力し、手順 5 からの操作を繰り返します。
または
変更を終了して、ファクスモード画面に戻る場合は、ファクスモード画面が表示されるまで、キャンセル /C キーを押します。

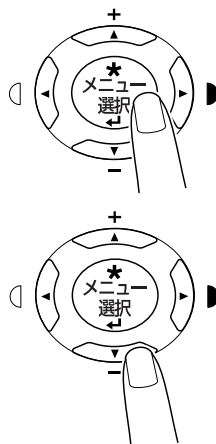
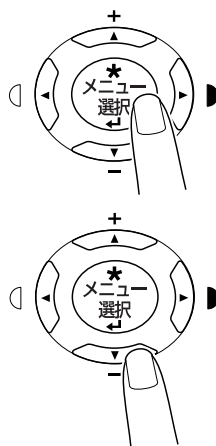
キャンセル/C

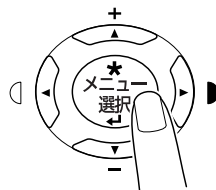
グループダイアル

グループダイアルを登録する

頻繁に使う同報送信のファクス番号は、短縮ダイアルに登録します。1 つのワンタッチダイアルキーに最大 50 件登録可能です。

ファクス送信時には、短縮ダイアル番号を入力して、同報送信のファクス番号を呼び出します。

1 メニュー選択キーを押し、▼キーを 3 回押します。

2 「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押し、▼キーを 2 回押します。

3 「ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

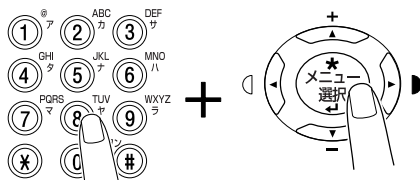
3 ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ?
OK=ｾﾝﾀｸ

4 グループダイアルを登録したいワンタッチダイアルキーを押します。

ｰﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸｰ

選択したワンタッチダイアルキーにすでにファクス番号が登録されている場合は、「ﾄｳﾛｸｽﾞﾐﾃﾞｽ!」というメッセージが表示されます。メニュー選択キーを押して、何も登録されていないキーを押してください。

5 グループダイアルの名前を入力し、メニュー選択キーを押します。

名前には20文字まで入力できます。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.141）をごらんください。

登録をキャンセルするには、キャンセル /C キーを押します。（名称を入力している途中で登録をキャンセルする場合は、メニュー選択キーを押してからキャンセル /C キーを押します。）

6 ワンタッチダイアルキーまたは短縮ダイアル番号を使って、相手先を指定します。

No.001=ABC
OK=ｾﾝﾀｸ ｶﾝﾘｮｳ=ｽﾀｰﾄ

短縮ダイアル番号を指定する場合は、短縮ダイアルキーを押し、3 桁の短縮ダイアル番号を入力します。

現在選択している相手先をキャンセルしたい場合は、キャンセル /C キーを押します。

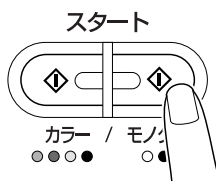
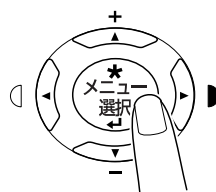
7 メニュー選択キーを押して、次の相手先を指定します。

目的の相手先をすべて指定するまで、手順 6 ～ 7 を繰り返してください。

グループダイアルが登録されたワンタッチダイアルキーも指定できます。この場合、指定したワンタッチダイアルに登録されている相手先がすべて追加されます。

登録をキャンセルするには、キャンセル /C キーを「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されるまで押します。

8 目的の相手先の登録がすべて完了したあと、スタートキーを押します。
入力した情報がワンタッチダイアルキーに登録され、「ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ」というメッセージが表示されます。

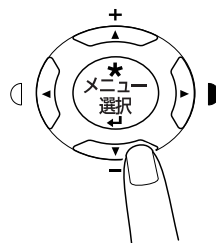
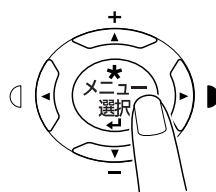
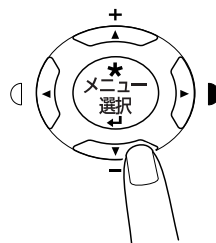
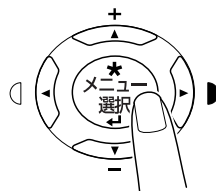
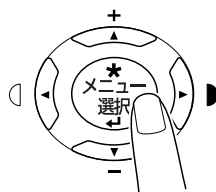
*ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ01
ﾄｳﾛｸ ｼﾏｼﾀ*

-ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ-
(ﾄｳﾛｸ ｶﾝﾘｮｳ=ｷｬﾝｾﾙ)

9 別のグループキーを登録する場合は、ワンタッチダイアルキーを押し、手順 5 からを繰り返します。
または
登録を終了して、ファクスモード画面に戻る場合は、ファクスモード画面が表示されるまで、キャンセル /C キーを押します。

キャンセル/C

グループダイアルを変更、削除する

登録したグループダイアルの情報を修正できます。

1 メニュー選択キーを押し、▼キーを 3 回押します。

2 「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押し、▼キーを 2 回押します。

3 「ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

4 修正または削除したいワンタッチダイアルキーを押します。

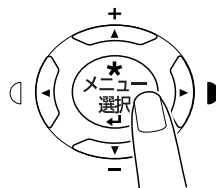
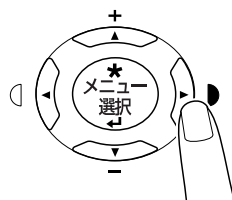
ﾄｳﾛｸｽﾞﾐﾃﾞｽ! ﾎｼﾞｼﾏｽｶ?
OK=ｾﾝﾀｸ ﾍﾝｼｭｳ=ｷｬﾝｾﾙ

5 キャンセル /C キーを押します。

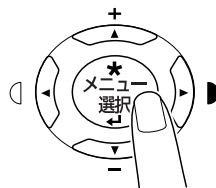
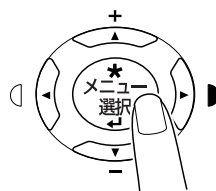
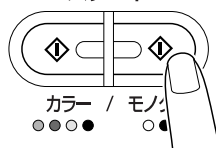
6 ◀キーまたは▶キーを押して、「ﾍﾝｼｭｳ」または「ｼｮｳｷｮ」を選択し、メニュー選択キーを押します。

```
*ﾍﾝｼｭｳ      ｼｮｳｷｮ
 ◄,► & ｾﾝﾀｸ
```

「ﾍﾝｼｭｳ」を選択した場合は、グループダイアルの名前が表示されます。手順 7 へ進みます。

「ｼｮｳｷｮ」を選択した場合は、ワンタッチダイアルキーに登録された情報が削除され、「ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ」というメッセージが表示されます。

```
*ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ01
        ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ*
```

7 グループ名を変更したい場合は、新しいグループ名を入力して、メニュー選択キーを押します。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.141）をごらんください。

8 表示されている相手先を削除するには、キャンセル /C キーを押します。
または
表示されている相手先を保持するには、メニュー選択キーを押します。

9 変更が終了したら、スタートキーを押します。
入力した情報がワンタッチダイアルキーに登録され、「ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ」というメッセージが表示されます。

```
*ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ01
        ﾍﾝｼｭｳ ｼﾏｼﾀ*
```

```
-ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ-
 (ﾄｳﾛｸ ｶﾝﾘｮｳ=ｷｬﾝｾﾙ)
```

10 続けて別のグループダイアルの情報を変更する場合は、ワンタッチダイアルキーを押します。
または
変更を終了して、ファクスモード画面に戻る場合は、ファクスモード画面が表示されるまで、キャンセル /C キーを押します。

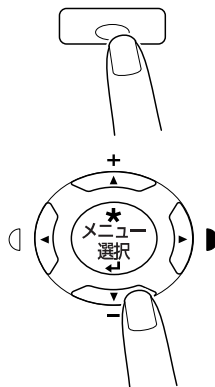
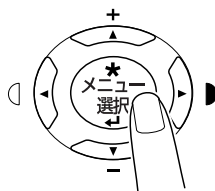
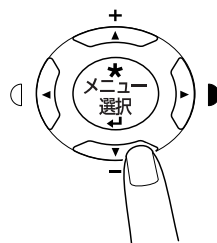
7 通信管理

カウンターについて

本機がインストールされてから行われた操作を、表示切換キーを押して、確認することができます。ファクス関連のカウンターのチェック方法は以下のとおりです。

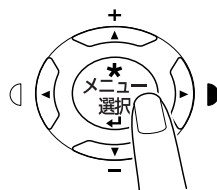
ファクスプリントのカウンターを確認する

このカウンターは、本機が設置されてからの総印刷枚数を示しています。

1 表示切換キーを押し、▼キーを押します。

2 「ｶｳﾝﾀ ﾁｪｯｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

3 ▼キーを 4 回押します。
「ﾌｧｸｽﾌﾟﾘﾝﾄ」画面が表示されます。

ﾌｧｸｽﾌﾟﾘﾝﾄ=000057
ﾁｪｯｸ ｼｭｳﾘｮｳ=ｾﾝﾀｸ

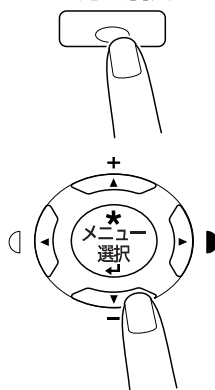
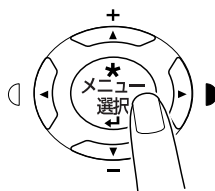
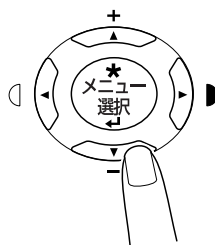
4 カウンタをチェックします。

5 メニュー選択キーを押します。
「ｶｳﾝﾀ ﾁｪｯｸ」画面が表示されます。

 ファクスモード画面に戻るには、キャンセル /C キーを押します。

ｶｳﾝﾀ ﾁｪｯｸ?
OK=ｾﾝﾀｸ

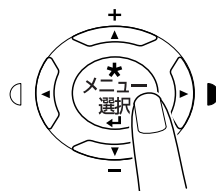
スキャン合計のカウンターを確認する

本機がインストールされてから行われたコピー以外の総スキャン回数を示しています。

1 表示切換キーを押し、▼キーを押します。

2 「ｶｳﾝﾀ ﾁｪｯｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

3 ▼キーを５回押します。
「ﾄｰﾀﾙｽｷｬﾝ」画面が表示されます。

トータルスキャンカウンタ=000062
チェック　シュウリョウ=センタク

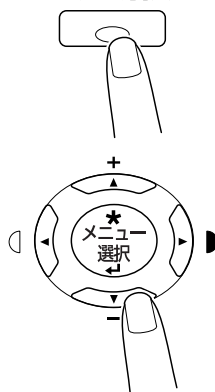
4 カウンタをチェックします。

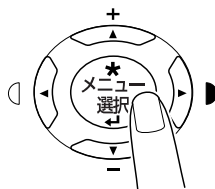
5 メニュー選択キーを押します。
「ｶｳﾝﾀ ﾁｪｯｸ」画面が表示されます。

ファクスモード画面に戻るには、キャンセル /C キーを押します。

```
ｶｳﾝﾀ  ﾁｪｯｸ?
 OK=ｾﾝﾀｸ
```

送信／受信結果をディスプレイで確認する

送受信結果をメッセージウィンドウで確認できます。

1 表示切換キーを押し、▼キーを2回押します。

2 「ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。
送受信結果が表示されます。

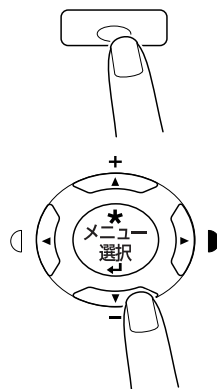
スタートキーを押すと、メッセージウィンドウに表示されている通信結果の詳細なレポートを出力できます。
モノクロキーのみ使用できます。

3 確認後、ファクスモード画面に戻るまでキャンセル/C キーを押します。

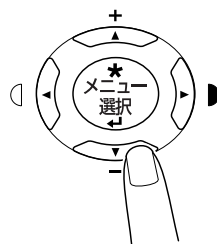
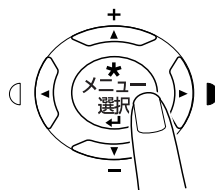
レポートとリストについて

ファクス送受信状態のレポートやワンタッチダイアルキーの内容などを印刷できます。

以下のレポートとリストを印刷できます。

レポートとリストを印刷する

1 表示切換キーを押し、▼キーを3回押します。

2 「ﾚﾎﾟｰﾄ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

3 ▲キーまたは▼キーを押して目的のレポートを選択します

4 メニュー選択キーを押します
レポートが印刷されます。

ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ

文書番号、受信者名、送信日、送信開始時間、送信ページ数、送信にかかった時間、モード、送信結果が印刷されます。

送信結果レポートの印刷のしかた（送信毎：オン、エラー時のみ：オン（エラー）、印刷しない：オフ）を設定できます。詳しくは、「ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ」（p. 47）をごらんください。

SESSION	FUNCTION	NO.	DESTINATION STATION	DATE	TIME	PAGE	DURATION	MODE	RESULT
0001	TX	001	トウキョウ エイギョウ 012345678	APR.19	18:00	010	00h02min21s	G3	NG
			NG PAGE:1,3,5,7						

ｼﾞｭｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ

文書番号、受信日、受信開始時間、受信ページ数、受信にかかった時間、モード、受信結果が印刷されます。

受信結果レポートの印刷のしかた（受信毎：オン、エラー時のみ：オン（エラー）、印刷しない：オフ）を設定できます。詳しくは、「ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ」（p. 47）をごらんください。

SESSION	FUNCTION	NO.	DESTINATION STATION	DATE	TIME	PAGE	DURATION	MODE	RESULT
0001	RX	001	098765432	APR.19	18:00	001	00h02min21s	ECM	NG
			0014:ERROR DURING RX						

ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ

セッション番号、文書番号、通信日、送受信開始時間、通信のタイプ（送信または受信）、相手先名、送受信のページ数、通信結果が印刷されます。

通信結果レポートを送受信 60 回ごとに自動的に印刷するようセットすることができます。詳しくは、「ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ」（p. 47）をごらんください。

NO.	SESSION	DATE	TIME	TX/RX	DESTINATION STATION	PAGE	DURATION	MODE	RESULT
01	0001	APR.19	16:32	TX---	トウキョウ エイギョウ 012345678	006	00h01min16s	ECM	OK
02	0002	APR.19	18:00	---RX	098765432	001	00h02min21s	ECM	NG 0034
03	0003	APR.19	18:00	---RX	098765432	012	00h02min48s	ECM	OK
04	0004	APR.19	19:12	TX---	ホンシャ 024682468	001	00h00min56s	ECM	OK

ﾂｳｼﾝ ﾖﾔｸ ﾘｽﾄ

送信待ち文書および時刻指定通信の文書のリストです。

文書番号、送信タイプ、時刻、相手先名、ページ数が印刷されます。

SESSION	FUNCTION	TIME	NO.	DESTINATION STATION	PAGE
0001	TX	18:00	001	OT-01 トウキョウ　エイギョウ 012345678	012

ﾖﾔｸ ｶﾞｿﾞｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ

メモリに蓄積されている文書の 1 ページ目の縮小画像を印刷できます。文書番号、送信タイプ、相手先名、日時、ページ数が併せて印刷されます。

ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ

ワンタッチダイアルキーに登録された相手先のリストが、ワンタッチダイアルキーの番号順に印刷されます。

OT-NO.	DESTINATION STATION	DESTINATION NUMBER	SPEED	SET DATE
OT-01	トウキョウ　エイギョウ	012345678	33.6	JAN.20.2006
OT-02	オオサカ　エイギョウ	098765432	33.6	JAN.20.2006
OT-03	ホンシャ	024682468	33.6	FEB.12.2006
OT-04	フクオカ　エイギョウ	0P02345678	12.8	FEB.12.2006

ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ

短縮ダイアル番号に登録された相手先のリストが、短縮ダイアル番号の順に印刷されます。

SP-NO.	DESTINATION STATION	DESTINATION NUMBER	SPEED	SET DATE
SP-001	アムステルダム　シシャ	0P09876543	33.6	JAN.20.2006
SP-002	カンコク　シシャ	0P01357913	33.6	JAN.20.2006
SP-003	ABCDEF	024682468	33.6	FEB.12.2006
SP-004	ユウビンキョク	0224466880	12.8	FEB.12.2006

ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ

ワンタッチダイアルキーに登録されたグループダイアルのリストが、ワンタッチダイアルキーの番号順に印刷されます。

KEY-NO.	NAME	NO.	DESTINATION STATION
OT-01	GROUP-01	01	OT-02　トウキョウ　エイギョウ 098765432
		02	OT-04　フクオカ　エイギョウ 0P02345678
		03	SP-001 アムステルダム　シシャ 0P09876543

ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ

メニュー一覧と設定内容を印刷します。

ﾌﾟﾘﾝﾀ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ

本機のおおよそのトナー残量、状態、情報、設定内容を印刷します。

ﾃﾞﾓ ﾍﾟｰｼﾞ

デモページを印刷します。

トラブル シューティング

送信時のトラブル

うまく送信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に送信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

エラーメッセージについては「エラーメッセージ」（p.137）をごらんください。原稿がつまった、用紙がつまった、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては、「プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイド」をごらんください。

トラブルの内容	原因	処置のしかた
原稿が読み込まれない。	原稿が厚すぎるか、薄すぎませんか？	原稿ガラスを使って読み込んでください。
原稿が斜めに読み込まれる	ADF のガイド板が原稿の幅に合っていますか？	ADF のガイド板が原稿の幅に合わせてください。
相手先で受信した画像が不鮮明	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。
	原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿ガラスを清掃してください。
	原稿の文字が薄くないですか？	濃度を設定してください。
	電話線が正しく接続されていますか？	電話線の接続を確認し、もう一度送信しなおしてください。
	回線状態か、受信側に問題はありませんか？	本機でコピーをとって本機の問題でないことを確認し、コピーの画像が鮮明なときは、相手先のファクス機の状態を確認してください。
相手先で受信した画像が白紙になる	送る面を下にしてセットしていませんか？（ADF 使用時）	送る面を上にして原稿をセットしなおしてください。

トラブルの内容	原因	処置のしかた
送信できない	送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認して、もう一度送信してください。
	番号が間違っていませんか？	番号を確認してください。
	ワンタッチダイアルや短縮ダイアルは、正しく登録されていますか？	正しく登録されているかを確認してください。
	電話線の接続は正しいですか？	電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	受信側に原因がありませんか？（用紙切れや電源）	相手先に確認してください。

受信時のトラブル

うまく受信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に受信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

エラーメッセージについては「エラーメッセージ」（p.137）をごらんください。原稿がつまった、用紙がつまった、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては、「プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイド」をごらんください。

トラブルの内容	原因	処置のしかた
受信した記録紙が白紙になる	回線状態か、相手先ファクスに問題がありませんか？	本機でコピーをとって確認してくださいコピーの画像が鮮明なときは、相手先にもう一度送信しなおしてもらってください。
	相手先が原稿を裏表逆にセットしていませんか？	相手先に確認してください。
自動着信されない	手動受信に設定されていませんか？	自動着信に設定してください。
	メモリがいっぱいになっていませんか？	用紙がなくなっているときは用紙をセットして、メモリに蓄積されている文書を印刷してください。
	電話線の接続は正しいですか？	電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	送信側に原因がありませんか？	本機でコピーをとって確認してくださいコピーの画像が鮮明なときは、相手先にもう一度送信しなおしてもらってください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	原因	処置のしかた
ﾀﾞｲｱﾙ ﾃﾞｷﾏｾﾝ （交互に表示） ｶｲｾﾝ ｦ ｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	■ 回線の種類設定または PSTN/PBX 設定が正しく設定されていません。 ■ 電話線が接続されていません。	■ 回線の種類設定または PSTN/PBX 設定を確認し、適切な設定をしてください。 ■ 電話線を正しく接続してください。
＊ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ＊ (###)	■ 本機に何らかの問題が起きたため、通信できません。 ■ 相手先のファクス機に何らかの問題が起きたため、通信できません。	通信結果を確認してください。
＊ﾂｳｼﾝ ﾃﾞｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ＊	相手先のファクス機が通信中か、応答がありません。	相手先の回線を確認し、もう一度送信しなおしてください。
＊ﾒﾓﾘﾌﾞｿｸ / ｿｳｼﾝｷｬﾝｾﾙ＊	送信文書のデータサイズがメモリ容量を超えています。	■ メモリに蓄積している受信文書を出力してください。 ■ 手動で送信してください。 ■ エラーメッセージ表示中に、キャンセル / C キーを押すと、エラーレポートが印刷されます。
＊ﾒﾓﾘﾌﾞｿｸ / ｼﾞｭｼﾝｷｬﾝｾﾙ＊	受信文書のデータサイズがメモリ容量を超えています。	■ メモリに蓄積している受信文書を出力してください。 ■ エラーメッセージ表示中に、キャンセル / C キーを押すと、エラーレポートが印刷されます。
＊ｼﾞｭﾜｷ ｶﾞ ｱｶﾞｯﾃｲﾏｽ＊	外付け電話機の受話器が上がっています。	外付け電話機の受話器を置いてください。

エラーメッセージ	原因	処置のしかた
ﾓｼﾞ x1.00 1 ◖[A]◗ #XXX ﾌｧｸｽ ﾁｭｳｲ	コピーモードで操作中にファクスエラーが起こりました。	ファクスキーを押して、エラーの状態を確認してください。
ﾓｼﾞ x1.00 1 ◖[A]◗ #XXX ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ	コピーモードで操作中にファクスの通信エラーが起こりました。	ファクスキーを押して、エラーの状態を確認してください。
＊ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ！＊ PC ｾｯﾂﾞｸﾁｭｳ	本機が LSU (Local Setup Utilitiy) または PageScope Web Connection の管理者モードで設定中です。	■ PageScope Web Connection の管理者モードをログオフしてください。 ■ LSU (Local Setup Utilitiy) を終了させてください。 ■ 600 秒間、何も操作がなければ、基本画面が表示されます。

付録

技術仕様

適応回線	加入電話回線（PSTN） PBX 回線
通信規格	ECM/Super G3
伝送速度	33600, 31200, 28800, 26400, 24000, 21600, 19200, 16800, 14400, 12000, 9600, 7200, 4800, 2400 (bps)
伝送時間	3 秒 / ページ (V.34)
符号化方式	MH, MR, MMR, JBIG
蓄積枚数	4 MB (約 250 ページ)
最大読取りサイズ	ADF：216 mm × 500 mm （500 mm：ファクス送信のみ） 原稿ガラス：リーガル ◪
最大記録サイズ	リーガル ◪
画像欠損	4 mm（先端、後端、奥側、手前側）
読み取り解像度	主走査：8 ドット 副走査：3.85 ドット（標準） 7.7 ドット（ファイン） 15.4 ドット（スーパーファイン）

その他の仕様については、「プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイド」をごらんください。

入力のしかた

入力できる文字

テンキーを使って、数字、文字、シンボルを入力します。
入力可能な文字は以下のとおりです。

ファクス番号入力時

テンキー	[1]	[1] *	[A] *
1	1	1	-1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9
0	0	0	(space)0
⋇	*		
#	#		+

* ファクス番号入力の場合に適用されます。ファクス番号は［ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ］-［ﾌｧｸｽﾊﾞﾝｺﾞｳ］で表示されます。

アドレス入力時

<table>
<tr><th>テンキー</th><th>[1]</th><th>[A]</th></tr>
<tr><td>1</td><td>1</td><td>.@_-1</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>ABC2abc</td></tr>
<tr><td>3</td><td>3</td><td>DEF3def</td></tr>
<tr><td>4</td><td>4</td><td>GHI4ghi</td></tr>
<tr><td>5</td><td>5</td><td>JKL5jkl</td></tr>
<tr><td>6</td><td>6</td><td>MNO6mno</td></tr>
<tr><td>7</td><td>7</td><td>PQRS7pqrs</td></tr>
<tr><td>8</td><td>8</td><td>TUV8tuv</td></tr>
<tr><td>9</td><td>9</td><td>WXYZ9wxyz</td></tr>
<tr><td>0</td><td>0</td><td>(space)0</td></tr>
<tr><td>＊</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>#</td><td>#</td><td>+&/*=!?()%[]^` ´ {}|$</td></tr>
</table>

その他

テンキー	[1]	[A]	[ア]
1	1	.,'?!"1-()@/:;_	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ
2	2	ABC2abc	ｶｷｸｹｺ
3	3	DEF3def	ｻｼｽｾｿ
4	4	GHI4ghi	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ
5	5	JKL5jkl	ﾅﾆﾇﾈﾉ
6	6	MNO6mno	ﾊﾋﾌﾍﾎ
7	7	PQRS7pqrs	ﾏﾐﾑﾒﾓ
8	8	TUV8tuv	ﾔﾕﾖｬｭｮ
9	9	WXYZ9wxyz	ﾗﾘﾙﾚﾛ
0		（スペース）0	ﾜｦﾝ（スペース）
#	#	*+=#%&<>[]{}|^`	ﾞﾟ

入力モードを変更する

＊キーを押すごとに、入力モードが数字、アルファベット、カタカナに切り替わります。

[1]：数字入力モード

[A]：アルファベット入力モード

[ｱ]：カタカナ入力モード

入力例

入力手順は以下のとおりです。

例：

```
ナマエ=エイキ゛ョウ ク゛ルーフ゜
 OK=▶          [ｱ]
```

1 ＊を押します。
入力モードがカタカナに切り替わります。

```
ナマエ=_
 OK=センタク      [ｱ]
```

2 1 キーを 4 回押します。
「ｴ」が入力されます。

```
ナマエ=エ
 OK=▶          [ｱ]
```

3 ▶ を押します。
カーソルが右へ移動します。

```
ナマエ=エ_
 OK=センタク      [ｱ]
```

4 1 キーを 2 回押します。
「ｲ」が入力されます。

```
ナマエ=エイ
 OK=▶          [ｱ]
```

5 2 キーを 2 回押します。
「ｷ」が入力されます。

```
ナマエ=エイキ
 OK=▶          [ｱ]
```

6 # キーを 1 回押します。
「ﾞ」が入力されます。

```
ナマエ=エイキ゛
 OK=▶          [ｱ]
```

7 8 キーを 6 回押します。
「ｮ」が入力されます。

```
ナマエ=エイキ゛ョ
 OK=▶          [ｱ]
```

8 1 キーを 3 回押します。
「ｳ」が入力されます。

```
ナマエ=エイキ゛ョウ
 OK=▶          [ｱ]
```

9 0キーを4回押します。
スペースが入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ_
 OK=▶              [ｱ]
```

10 2キーを3回押します。
「ｸ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ ｸ
 OK=▶              [ｱ]
```

11 #キーを1回押します。
「ﾞ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞ
 OK=▶              [ｱ]
```

12 9キーを3回押します。
「ﾙ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙ
 OK=▶              [ｱ]
```

13 ＊を2回押します。
入力モードがアルファベットに切り替わります。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙ_
 OK=ｾﾝﾀｸ           [A]
```

14 1キーを8回押します。
「-」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰ
 OK=▶              [A]
```

15 ＊を押します。
入力モードがカタカナに切り替わります。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰ_
 OK=ｾﾝﾀｸ           [ｱ]
```

16 6キーを3回押します。
「ﾌ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰﾌ
 OK=▶              [ｱ]
```

17 #キーを2回押します。
「ﾟ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰﾌﾟ
 OK=▶              [ｱ]
```

文字修正のしかたと入力時の注意

■ 入力した文字をすべて削除するには、キャンセル /C キーを長押しします。

■ 入力した文字の 1 部を削除するには、◀ または ▶ キーを押して、カーソル（_）を削除したい文字に移動させ、キャンセル /C キーを押します。

■ 1 つのキーに複数の文字が割り当てられている場合、画面の下段に "OK= ▶ " が表示されます。

■ 続けて同じキーを使って入力する場合は、最初の文字を入力した後、▶ キーを押してから次の文字を入力します。（上記の入力例を参照してください。）

■ スペースを入力する場合は、0 キーを 3 回押してください。

■ 濁点または半濁点はカタカナ入力モードで＃キーを押します。

索引

A

ADF 12

あ

相手先
登録 101
複数相手先 80

い

印刷 99
メモリ受信モード 50
印刷可能領域 99

え

エラーメッセージ 137

か

解像度
調整 65
カウンター 124, 126
各部の名称 12
カメラダイレクト 101

き

キャンセル
メモリ 90

く

グループダイアル
登録 116
変更、削除 119

け

検索
　検索機能 75
　リスト機能.................................... 72

こ

コピー 123

さ

削除
　メモリ 90

し

時刻指定送信.................................... 84
指定
　検索機能 75
　短縮ダイアル 70
　直接入力 66
　リスト機能.................................... 72
　ワンタッチダイアルキー 68
受信
　自動受信 94
　手動受信 98
受信結果............................... 128, 130
手動
　受信 98
　送信 87
仕様 140

す

スキャン.. 133
スキャン合計................................. 126

そ

操作パネル 12, 26
　ワンタッチダイアルキー 26
送信
　基本的な送信 58
　時刻指定送信 84
　手動送信 87
　リダイアル..................................... 78
送信結果レポート 130

た

ダイアル、直接入力 66
短縮ダイアル
　相手先指定 70
　登録 109
　変更、削除 112

つ

通信管理 123

て

テンキー 26

と

登録...101
　グループダイアル 116
　短縮ダイアル...............................109
　ワンタッチダイアル....................103
トラブルシューティング 133
　受信時 136
　送信時 134

に

入力できる文字..............................141
入力モード.....................................143

ふ

ファクスプリント 124
ファクスモード画面 30
複数宛先
　グループダイアル 68
　同報送信 80
フッタ 99

へ

ヘッダ 92

め

メニュー
　一覧 33
　ジュシン セッテイ 42

設定 49
ソウシン セッテイ 42
ツウシン セッテイ 45
ファクス トウロク 40
ホンタイ セッテイ 39
ユーザー セッテイ 47
レポート セッテイ 47
メモリ
キャンセル、削除 90
蓄積 90
メモリ受信モード 50
解除 54
設定 51

も

文字入力 141
修正 146
入力時の注意............................146
入力モード 143

よ

用紙...93

り

リスト 129
印刷 129
グループダイアルリスト............132
スピードダイアル 132
通信予約リスト 131
ワンタッチダイアルリスト 131
リダイアル.......................................78

れ

レポート 129
印刷 129
受信結果レポート 130
送信結果レポート 130
通信管理レポート 131
予約画像プリント 131

わ

ワンタッチダイアルキー
相手先指定 68
登録..103
変更、削除................................106